



2025年度事業計画

INDEX

□ 基本的な考え方と事業展開の枠組み	1
□ I. 価値創出・課題解決プロジェクト	2～26
□ 2025年大阪・関西万博関連事業	27～28
□ II. 経営基盤強化パッケージ	29～42
□ III. インフラ整備、提言・要望	43～45
□ IV. 「挑戦都市 やってみなはれ！ 大阪プラン」の 検証・総括・継承	46～47
□ V. 組織基盤の強化・支部の活動	48～49
□ 中期計画における評価指標	50
□ 部会・女性会、専門委員会 主要活動一覧	51～60
□ 本会議所が事務局を担当する団体等一覧	61
□ 組織図	62

挑戦都市
やってみなはれ！
大阪プラン

大阪商工会議所

The Osaka Chamber of Commerce and Industry

基本的な考え方と事業展開の枠組み

- 「2025年大阪・関西万博」の開催年であるとともに、中期計画「挑戦都市 やってみなはれ！ 大阪プラン」の最終年度にあたる。大阪ヘルスケアパビリオンへの出展支援をはじめ、万博のチャンスを活かした関連事業を力強く推進するとともに、中期計画の総仕上げに取り組む。
- 中小企業を取り巻く潮流の変化をふまえ、グローバル展開や人材の確保育成など、支援策に一層の工夫を加え注力する。
- 中期計画の成果を検証・総括し、万博後の大阪の将来像を見据え、その継承を検討する。
- 部会・委員会・支部による連携した取り組みや組織基盤の強化につとめ、組織のプレゼンス向上を図る。

中 期 計 画
2023～25年度

挑戦都市 やってみなはれ！ 大阪プラン

大阪の国際競争力強化と持続的成長

ユーザーをも巻き込んで
未来をデザイン

2025年大阪・関西万博・スーパーシティ

若者活躍・挑戦応援

I. 「価値創出・課題解決プロジェクト」

1. ものづくり×イノベーション
2. ウェルネスビジネス創出
3. 都市魅力再構築
4. まちなかりビングラボ

II. 「経営基盤強化パッケージ」

5. 稼ぐ力強化
6. 人的資本強化
7. 商流創造・グローバル展開

III. インフラ整備、提言・要望

V. 組織基盤の強化

IV. 「挑戦都市 やってみなはれ！ 大阪プラン」の検証・総括・継承

I. 価値創出・課題解決プロジェクト

※事業名左側の番号は、
中期計画「挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン」の事業番号に対応
※2025年度からの新たな取り組みは下線で記載
※各事業を所管する部会・委員会名を記載

凡例：  中期計画
事業番号

 委員会名
 部会名

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

① 次世代テックフォーラムの運営

情報・通信

デジタル変革

目的 デジタル技術等の次世代技術を活用した、既存産業の高度化や新規ビジネスの開発支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 次世代テックフォーラムの立ち上げ、運営 - 例会の開催(最新情報の提供等) 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展準備	【実績】 - フォーラムを立ち上げ、「AI」「モビリティ」「新エネルギー」の3つの分科会(クラスター)を設置 - 全体で5回の例会と2回の特別見学会を開催し、最新技術の動向や活用事例について情報提供 - クラスター間の連携を検討するトータルコーディネート会議を開催 - 大阪ヘルスケアパビリオンリボーンチャレンジ「Series A:セレクション」への出展企業を募り、46社の応募から10社を選出
2024年度	- フォーラムの拡充(テーマの増加等) - ビジネスマッチングの実施	【実績】 「宇宙ビジネス」「Neoマテリアル」の分科会(クラスター)を新たに立ち上げ - 全体で12回の例会と5回の特別見学会を開催 - 情報提供に加え、新ビジネス創出にむけ、関心企業でチームを組成するためのマッチング会も実施 【気付き・課題】 - 最先端技術の情報提供や事例紹介に加え、参加企業同士のマッチングや実際の製品・サービスを体験するプログラムへのニーズが高い  ▲マッチングニーズの発表等を実施
2025年度	- 関心企業が集うワーキンググループの組成、ビジネス開発支援 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展	【内容】 「AI」「モビリティ」「新エネルギー」「宇宙ビジネス」「Neoマテリアル」に加え、中小企業の参画も見込まれる「<u>防衛・防災</u>」分科会(クラスター)を新たに立ち上げる - クラスターの開催と、複数クラスター間でのビジネス創出のための「トータルコーディネート会議」の開催 - 大阪ヘルスケアパビリオン リボーンチャレンジの開催(展示) 【スケジュール】 - 通年 8月12日～18日：リボーンチャレンジ出展「Series A:セレクション ～輝く未来社会の創り手ここにあり～」

評価指標	2023	2024
クラスター参加企業	54社	77社
マッチング件数	-	16件

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②メタバースビジネス創出プラットフォームの運営

情報・通信

デジタル変革

目的 中小企業等におけるメタバースを活用したビジネス創出支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・メタバースビジネス創出プラットフォームの立ち上げ、運営	【実績】 ・プラットフォームを設置 ・例会を開催し、メタバースビジネスの先進事例紹介や展示に加え、協業に向けた関心企業のマッチングを実施 ・近畿経済産業局と連携し、XR関連企業28社のビジネスマッチングを目的とした体験型イベントを開催
2024年度	・先進事例発表、個別マッチング	【実績】 ・例会を2回開催し、先進情報の提供や各社の事例を紹介 ・メタバースプラットフォーム提供企業と連携し、メタバース空間を実際に構築するワークショップを実施 ・最新のXRソリューションの体験機会や、ビジネスマッチングの機会を提供 【気付き・課題】 ・参加企業の多くが情報収集のフェーズであり、また製造業、医療、サービスなど様々な業種が参加するため、引き続き業種ごとの具体的な活用方法の提示が必要  ▲例会を2回開催
2025年度	・ビジネス化支援 ・大阪関西万博(バーチャル万博等)との連携	【内容】 ・メタバースビジネスの具体化に向け、米国で開催されるAX(アニメエキスポ)へのコンテンツ出展を支援 ・ビジネスマッチング会の開催 【スケジュール】 ・通年で実施(例会は1回開催) ・25年7月 AX(アニメエキスポ)@米国

評価指標	2023	2024
参加企業数	70社	19社
マッチング件数	7件	(第4回例会で実施)

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③ SDGs/ESGプラットフォームの運営

国際ビジネス

産業・スタートアップ

目的 中小企業等のSDGs/ESGに資する企業活動の促進 / グリーンイノベーションの推進支援

	主な取り組み	進捗・計画
2023年度	- SDGs/ESGやグリーンイノベーション推進に関する最新情報の提供 「CO2排出量の見える化」等、コンサルティングサービスの実施 - グリーンイノベーション関連技術の橋渡しマッチングや商談会等の開催	【実績】 - 名古屋商工会議所と連携し「グリーンテックマッチング会」を開催したほか、展示商談会「カーボンニュートラル(CN)・チャレンジフェア」「SDGsカフェ」等を実施。大商会員対象に脱炭素アンケート調査を実施 - 英国のマンチェスター大学やタイ企業とのマッチング会を実施
2024年度	- SDGs/ESGやグリーンイノベーション推進に関する最新情報の提供 「CO2排出量の見える化」等、コンサルティングサービスの実施 - グリーンイノベーション関連技術の橋渡しマッチングや商談会等の開催	【実績】 - 東京・名古屋商工会議所と連携し「グリーンテックマッチング会」を開催したほか、展示商談会「CN・チャレンジフェア」「SDGsカフェ」等を実施 - 全国の商工会議所を対象に日商と共催でCN研修を実施 【気付き・課題】 - サプライチェーンの中でCNへの取り組みを要請される機会が増え、脱炭素経営への関心や対応は、大企業から中堅・中小企業へと広がっている  ▲SDGsカフェ2024
2025年度	- コンサルティングメニューの充実 - グリーン関連マッチングの拡大 - 大阪関西万博とコラボした取り組み展開	【内容】 - コンサルティングサービスとして、「CFP(カーボンフットプリント)」や「中小企業版 SBT(Science Based Targets)」に力点をおく - 日商/経産省/環境省と連携し、全国での展開を模索 - グリーンテックマッチング、CNチャレンジフェア、SDGsカフェなどの実施 - 万博「Team EXPO」活動として、脱炭素経営に取り組む中小企業をテレビ番組で放映 【スケジュール】 - 通年。CNチャレンジフェアとSDGsカフェは大阪勧業展と同時開催(12月) - Team EXPO (MBS、吉本興業との共同チーム)の活動は、万博終了まで

評価指標	2023	2024
SDGs/ESGプラットフォーム登録企業数	1,399社	1,509社
参加企業数	792社	533社
コンサルティング利用企業数	6社	4社
マッチング件数	19件	37件

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

④ グローバル・イノベーションフォーラムの運営

国際ビジネス

目的 海外スタートアップと大阪・関西企業の連携によるビジネス創出

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・グローバルイノベーションフォーラムの実施 ・国内スタートアップの海外展開支援	【実績】 ・地域別(欧州・中東、北米・ラテンアメリカ、アセアン)に3回、オンラインによるピッチ・商談会を開催 ・CES(米国)に共同出展をブースを設け、国内スタートアップの海外展開を支援
2024年度	・グローバル・イノベーションフォーラム(GIF)の内容拡充	【実績】 ・海外スタートアップと日本企業をマッチングする「GIFミートアップ」は、タイ編(17人)、オーストラリア編(47人)、台湾編(57人)、英国編(22人)、米国編(45人)、アセアン編(47人)を開催。 ・国内スタートアップの海外展開を支援する「GIFチャレンジ」は、7月のタイ・バンコクの展示会「SITE2024」や、1月の米国・世界最大規模展示会「CES」等、海外展示会への出展支援を実施 【気付き・課題】 ・多くの日本企業が優秀なスタートアップを探すなか、「GIFミートアップ」を通じて、海外のスタートアップや投資先を知る機会になっている ・万博開催時に、各国からイノベーションや協業の提案、商談ニーズが寄せられる見込み
2025年度	・大阪関西万博との連携	【内容】 ・「GIFミートアップ」：海外スタートアップの万博来阪時をとらえ、ピッチイベントとマッチング会を開催。国内企業との連携を促進し、ビジネス創出を支援 ・「GIFチャレンジ」：米国展示会CESへの共同出展等により国際連携を支援 【スケジュール】 ・4～10月：海外スタートアップの来阪にあわせてピッチイベント(GIFミートアップ)を随時開催 ・11月～3月：オンライン・オフラインの両方法にてピッチイベントを随時開催 ・1月：米国・世界最大規模展示会「CES」JAPAN TECHへの共同出展

評価指標	2023	2024
GIFミートアップ 参加者数	232人	235人
GIFチャレンジ 参加企業数	22社	31社

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑤ スタートアップ支援事業の推進

産業・スタートアップ

目的 地域間の連携によるスタートアップの市場開拓支援 /
新たな技術・ソリューションを有するスタートアップと既存企業の連携によるイノベーション創出支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 広域連携によるスタートアップ支援事業 - 大学発スタートアップ事業展開支援「U-START UP」ピッチイベントの実施(年1回)	【実績】 - 東京、名古屋、京都、神戸、福岡、札幌、仙台、広島、愛媛等全国9都市と連携し、各都市間のスタートアップと中小企業のマッチング会を開催 - ピッチコンテストには36社から応募があり、6社を表彰
2024年度	連携地域、連携機関等の拡充	【実績】 - 新たに北陸と連携し、マッチング会を開催 - U-START UP KANSAIには過去最多の75件の応募 - 共創パートナーとのビジネスマッチングも新たに実施 - 国によるスタートアップ支援イベント「Global Startup EXPO 2025」の連携イベントとして、国内外のスタートアップが開発中の製品やサービスを、大阪のまちなかで披露するイベント「Doco Demo Festival OSAKA(DD Fes)」を新たに開催 ▲U-START UP KANSAIファイナリスト 【気付き・課題】 - 大阪には、実力あるスタートアップが多く存在することを広く発信することが必要 - 政府による「グローバルスタートアップ拠点都市」再指定に向け、スタートアップのグローバル展開支援の強化が求められる - 万博で披露されたスタートアップ技術の社会実装を支援するプログラムが必要
2025年度	- 全国のスタートアップと中小企業のマッチング - 大阪関西万博催事(政府イベント)との連携 - その他、各種スタートアップ支援事業の実施	【内容】 「DD Fes」と「U-START UP KANSAI」を継続して開催 - グローバル展開支援として、スタートアップとともにインドを訪問し、商談会や企業マッチングを実施 - 全国会議所との広域連携スタートアップ支援事業「コロンブス」の継続実施 【スケジュール】 - コロンブス：通年 - U-STARTUP：5～1月 - DD Fes、スタートアップミッションの派遣：時期未定

評価指標	2023	2024
参加企業数	1,462社	821社
マッチング件数	92件	140件

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑥ 町工場ネットワークの拡充

企業成長支援

目的

大阪の金属加工・機械製造業の地域ブランド向上と受注拡大、独自製品の開発 / 町工場とスタートアップによるオープンイノベーションの促進 / 万博を生かした大阪のものづくりのポテンシャル発信

	主な取り組み	進捗・計画
2023年度	- 参加企業による情報交換会の開催 - 独自製品の開発勉強会の開催 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展準備 - スタートアップ等の試作案件の募集、相談、試作支援等	【実績】 「ものづくり加工ネットワーク強化交流会」を各支部や大阪信用金庫、区役所、オープンイノベーション拠点「Garage Minato」「Garage Taisho」と連携して開催(4回) 2025年大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンの出展企業を大阪信用金庫とともに募集し、リボンチャレンジ交流会(上記を含む11回)で企業間連携を促進
2024年度	- 情報交換会、勉強会の開催 - 試作支援の拡充	【実績】 19グループ・74社の出展が決定し、出展準備交流会を4回開催 「ものづくり加工ネットワーク強化交流会」を西支部と南支部で大阪信用金庫、区役所、オープンイノベーション拠点「Garage Minato」「Garage Taisho」と連携して開催 【気付き・課題】 - ユニバーサルデザインなど、万博ならではの要求への対応を通じ出展企業がレベルアップできる - メディアに取り上げられることで、出展企業のモチベーションアップにつながる
2025年度	- リボンチャレンジ出展 - ものづくり加工ネットワーク強化交流会の開催	【内容】 - リボンチャレンジへの19グループの出展に向けた準備 - リボンチャレンジを経て生まれた他社との連携による開発経験を、これから自社事業の強みとして定着させられるよう、<u>交流機会を設定</u> - 機械・金属加工の町工場による「顔の見える加工ネットワーク」づくりを促す交流会の開催 【スケジュール】 10月7日～13日：リボンチャレンジ出展「身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！」 - 通年：ものづくり加工ネットワーク強化交流会(2回)

評価指標	2023	2024
参加企業数	352者	234者

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑦ MoTTo OSAKAオープンイノベーションフォーラムの運営

産業・スタートアップ

目的 技術探索を支援するオープンイノベーション支援事業を通じた新技術・製品開発、新ビジネスの創出

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- MoTTo OSAKA オープンイノベーションフォーラムの運営 - オープンイノベーションリンクとの連携	【実績】 - 大阪ガス(株)、LG Japan Lab(株)、パナソニックグループ、ファーウェイ・ジャパン社が技術ニーズを発表 - KAHMジャパン(株)、理研鼎業(株)、近畿大、中部電力(株)、三洋化成工業(株)、サンノプロ(株)が技術シーズを発表 - 技術提案力向上セミナー、経済安全保障セミナーを実施
2024年度	フォーラムの運営(大企業の参加拡充)	【実績】 - 大阪ガス(株)、(株)椿本チエイン、ローム(株)が技術ニーズを発表 (株)リコー、(株)Thinker、ネクスファイ・テクノロジー(株)、産業技術総合研究所、三菱ケミカル(株)が技術シーズを発表 - 海外スタートアップ(Flyability SA、Kraftblock GmbH)からの技術シーズを発表する海外シーズマッチング会を初開催 - オープンイノベーション促進セミナー、技術提案力向上セミナーを実施 ▲技術ニーズ説明会 【気付き・課題】 - 中堅・中小企業から提案しやすいよう、大企業の技術ニーズ、求める技術などを一覽でわかりやすい書式に変更 - 中堅・中小企業の参加を促進するため、新たに京都、吹田、龍野の商工会議所が参画 - 新たなニーズ、シーズ開示企業の探索が必要
2025年度	フォーラムの運営(マッチング規模の拡充)	【内容】 - フォーラムの継続開催(ニーズ主導型、シーズ提案型および提案書作成指南セミナー等) - 府外企業や海外企業等に、技術ニーズ開示企業としての参加を積極的に呼びかける 【スケジュール】 - 通年。技術ニーズ説明会2回、技術シーズ発表会2回、セミナー1回以上



▲技術ニーズ説明会

評価指標	2023	2024
参加企業数	219社	471社
マッチング件数	32件	42件

1. ものづくり×イノベーションプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑧ 繊維・アパレル産業のイノベーション促進

繊維

目的 業界内外の連携や産学連携の促進による、ファッション産業の振興

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「大阪ファッション産業振興フォーラム」の開催 「ファッション・イノベーション展」の開催 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展準備	【実績】 - 展示商談会「ファッション・イノベーション展」を開催 - 出展希望企業によるプレゼン交流会を開催、グループを組成し展示テーマ等を検討。17社が出展
2024年度	「大阪ファッション産業振興フォーラム」の開催 「ファッション・イノベーション展～チラミエEXPO」を通じた業界内外との連携促進 「大阪ヘルスケアパビリオン」中小企業・スタートアップ展示ゾーンの運営準備 - 各テーマにおける出展企画準備	【実績】 - 繊維関連素材調達商談会をテスト実施 「カーボンフットプリント」セミナー開催 「従業員のやる気を引き出し、働きがいを高める職場づくり」セミナー開催 「国際認証」プレゼン&交流会開催 「ファッション・イノベーション展～チラミエEXPO」開催 - リボンチャレンジ出展企業による準備状況共有会 「チェンジ！ファッションワーキング」を4回開催。出展企業による展示内容の検討を支援 ▲チェンジ！ファッション ワーキング  【気付き・課題】 - 分業体制を担う中小企業の廃業が増え、素材や服飾資材のサプライチェーン再構築が求められるなか、関連素材の商談事業に可能性が感じられた - 欧州向け輸出等を中心に、「国際認証」取得ニーズは今後一層高まる - 万博に出展する展示物制作を通して、出展企業間の連携や共創が深まった
2025年度	「大阪ファッション産業振興フォーラム」の開催 「繊維・ファッション買い付け商談会」(仮称)の開催(新規) 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展	【内容】 - 新たに「繊維・ファッション買い付け商談会」(仮称)を2回開催 「大阪ファッション産業振興フォーラム」の情報提供セミナー3回、プレゼン交流会1回を開催 - 万博出展に向けた最終準備を進める 【スケジュール】 - 通年 9月23日～29日：リボンチャレンジ出展「サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト」

評価指標	2023	2024
参加企業・団体数	459社・団体	590社・団体
マッチング件数	94件	106件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑨ 創薬支援プラットフォームの運営

ライフサイエンス

目的

製薬企業と、創薬シーズや関連技術を保有する大学・研究機関等との
マッチング促進による創薬支援を通じた、革新的医薬品の持続的な創出推進

	主な取り組み	進捗・計画
2023年度	・面談マッチング会(D-Bio)	【実績】 全国の研究機関やベンチャー等から創薬案件を募集し、案件と製薬企業とをマッチングする「DSANJ Digital Bio Conference(D-Bio Digital)」を2回開催
2024年度	・面談マッチング会(D-Bio)	【実績】 「DSANJ Digital Bio Conference」をウェブ上で5日間開催。製薬企業38社が参加し、全国の研究機関やベンチャー等の創薬案件66件に対して、273件の面談を実施 「DSANJ Digital Bio Conference」をウェブ上で6日間開催。製薬企業39社が参加し、創薬案件71件の応募に対して、235件の面談を実施 【気付き・課題】 - 製薬企業のDSANJへの参加意欲は高い - 海外案件の探索に対する関心が高い
2025年度	・創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク(DSANJ)の拡充	【内容】 「DSANJ Bio Conference」を2回開催。製薬企業40社超が参加見込 - 参加製薬企業の案件ニーズや運営方法改善に関わるヒアリング等を実施 - 製薬企業のニーズが高い海外案件も対象に含める仕組みを検討・推進 【スケジュール】 10月、2月：「DSANJ Bio Conference」開催



▲DSANJ事業の概要

評価指標	2023	2024
参加企業数	42社	39社
商談件数	666件	508件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑩ 医療機器ビジネス支援プラットフォームの運営

ライフサイエンス

目的

医療現場等の課題やニーズと医療機器メーカーやものづくり企業とのマッチングによる医療機器・用品、関連設備、施設等の開発促進 / 中小企業等の医療機器分野への新規参入や事業化支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 産学医マッチング例会の実施 - 事業化相談、コンサルタント派遣事業 - 医療機器開発支援セミナー、逆見本市等 - デジタルヘルスセミナーの開催 - 医療従事者によるユーザー評価事業 - 途上国市場開拓マッチング会の実施	【実績】 - 医療現場のニーズを発表し、企業とのマッチングを行う「医工連携マッチング例会」を8回開催 「デジタル医療」「再生医療」「看護・在宅医療」「介護・福祉」の分科会における情報提供や産学連携、逆見本市等による企業間連携、医療従事者による製品・サービス評価事業等の支援を実施
2024年度	医療現場等の課題やニーズ収集等の拡充	【実績】 - 医工連携マッチング例会を8回開催。全国の医療現場から41件の多様なニーズ提案があり全件マッチング見込み。マッチング後のビジネス化支援を拡充し、中堅・中核企業8社を伴走支援。AMED事業での支援を通じて国の競争的資金に申請10件中採択5件。各分科会、新規参入セミナー、イノベーションカフェ、ユーザー評価、逆見本市、病院見学会、展示会共同出展などを実施 【気付き・課題】 - 医療現場のニーズを収集する医療機関を8組織増やし、より多様なニーズが集まることで、幅広い業種の企業参加につながった
2025年度	事業化支援の拡充	【内容】 - 医工連携マッチング例会を開催し、企業とのマッチングを行うとともに、事業化に関するコンサルティングを強化 - そのため、<u>国内外の医療機器分野の事業化支援に知見を持つ支援人財をネットワーク化し、海外展開、国内市場開拓双方を支援</u> 「医療機器相談事業」の対象を全国の企業に広げ、幅広い相談内容に対応 【スケジュール】 4月頃～：事業化コンサルティング(予定) 7月頃～：医工連携マッチング例会(年間7回)

評価指標	2023	2024
参加企業数	1,748社	1,630社
マッチング件数	45件	35件
個別事業化相談数	528件	392件
事業化件数	4件	2件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑫ スポーツ産業の振興

ライフサイエンス

スポーツ産業

目的

スポーツを核とした幅広い産業分野を組み合わせた新ビジネスの創出・拡大 / 多様な企業のスポーツ分野への参入や新規ビジネス立ち上げの促進

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- マッチング例会の開催 - ワークショップの開催 - Ex-Cross の実施、プロジェクトの実証支援 - 大阪公立大学 森之宮キャンパスにおけるリビングラボ実証プロジェクトの企画検討 - アスリートによるヘルスケアビジネスの実証	【実績】 「スポーツハブKANSAI」ビジネスマッチング例会を1回開催 - てんしば(天王寺公園)でEx-Crossを開催し、40,289人が来場
2024年度	- アスリートで検証したヘルスケアビジネスの一般化に向けた検討 - うめきたでの「Ex-Cross」やマッチング事業の実施	【実績】 - ビジネスマッチング例会を開催し110社が参加し、31件の個別ミーティングを実施 「アスリート・元アスリートのセカンドキャリア支援事業」を試行し、大阪エリアでの就職意欲をもつ11人のアスリートと、人材を探索する11社が参加。大手企業から中小企業、SUまで幅広い企業が参加 - 参加者のうち1人が2社から内定を獲得。4人が継続して交渉中(2024年10月時点) 【気付き・課題】 - 大企業からスタートアップまで幅広い企業がアスリートの強みを理解し、採用に関心があることがわかった。アスリートの参加人数を増やし、企業とのマッチング成果を上げる工夫が必要
2025年度	- ヘルスケアビジネスの一般展開に向けた支援事業の実施 - 大阪公立大学森之宮キャンパスにおけるリビングラボ、実証プロジェクトの開始	【内容】 - アスリートと企業との人材マッチングイベントの拡充 - スポーツチームやスポーツ関連企業との連携による新ビジネス創出のためのマッチング事業も実施 【スケジュール】 - 前半：大阪スマートヘルスプロジェクト実証事業 - 後半：スポーツ関連人材マッチング、新ビジネス創出マッチング事業



▲アスリート就職フェア

評価指標	2023	2024
参加企業数	780社	750社
マッチング件数	26件	31件+63件(人材マッチング)
事業化支援件数	15件	15件+6件(人材マッチング)
事業化件数	8件	5件+2件(人材マッチング)

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑬ 融合領域の拡大による新ビジネス創出支援

⑭ 「未来の医療」の推進

ライフサイエンス

スポーツ産業

目的 未来社会に求められるWell-beingや環境に配慮した、医療機器や設備、システム等の開発支援 / ものづくりやデジタル等、異業種の医療分野への新規参入促進

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・大阪医療センターとの連携プロジェクト開始	【実績】 - 新たに「優しい病院」「救命救急医療」「災害医療」をテーマに共創カンファレンスを開催、災害レジリエントな街・社会づくりを目指す「災害食を中心とした新産業創出共創コミュニティ」を設置 「次世代医療システム産業化フォーラム(MDF)」例会で「優しい病院」に関する医療現場ニーズ12件を提示し、関心企業とマッチングを行った
2024年度	・大阪での展開策等の検討 ・他の医療機関との連携検討 ・医療現場での実証による効果検証やビジネス化支援	【実績】 - 複数の医療機関と連携し、病院内の課題をロボット技術等で解決する「優しい病院」プロジェクトを実施。病院のDX化をテーマに、医療現場での実証を2件支援 「女性医師活躍」をテーマにカンファレンス、共同開発提案、企業とのマッチングを実施 - 未来医療の推進を加速するため、未来医療推進機構(中之島Qross)と連携協定を締結 【気付き・課題】 - 社会的なテーマに連動した医療ニーズに注目することで、課題解決意欲のある異業種からの参入企業が増える  ◀女性医師活躍をテーマとした医工連携マッチング
2025年度	・融合領域におけるビジネス化 ・他の医療機関との連携開始	【内容】 「優しい病院」は、大阪医療センターをはじめ全国の国立病院機構や大阪けいさつ病院との連携を強化し、ロボット技術等を活用した新たな共同開発製品の実証を支援 - 未来医療推進機構と連携し、「未来医療」にかかる情報発信や海外連携事業などを実施 「女性医師活躍」については、現場ニーズを掘り起こし、多様な医療機関との連携を拡大 - 新たに、医療現場における「高齢者特有の課題解決」や「環境配慮の医療」のテーマにも着手 「災害医療」「救急医療」も継続実施 【スケジュール】 7月以降：医療機関と企業との共同開発案件の現場での実証や事業化支援

⑬ 評価指標

2023

2024

融合領域として
取り上げる
具体テーマ数

2テーマ

3テーマ

⑭ 評価指標

2023

2024

参加企業数

83社

333社

マッチング件数

3件

12件

2023

2024

実証件数

2件

2件

事業化件数

16件(支援中)

29件(支援中)

14

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑬ 融合領域の拡大による新ビジネス創出支援

ライフサイエンス

スポーツ産業

⑪ ウェルネスビジネス創出支援

⑮ ウェルネスオフィス・プロジェクト

目的 日常生活空間を活用した健康増進ビジネスの開発支援 / 万博を活かした国内外への発信強化

主な取り組み			進捗・計画		
2023 年度	- ウェルネスオフィス・プロジェクトの立ち上げ - 大手企業等とのマッチング 「大阪ヘルスケアパビリオン」の出展準備として出展者募集、選考、展示企画を推進		【実績】 「未来のウェルネス実装ネットワーキング」を開催 - 万博出展企業を募集し、12月に「未来のウェルネスピッチ」を開催、出展候補32者を決定		
2024 年度	- 関心企業による具体的な製品やサービス開発、実証支援 - 大阪での展開策等の検討 - 出展企画 - 出展準備、会場計画 - 出展予定者メンタリング - 大手企業等とのマッチングによる事業拡大支援		【実績】 - スマートヘルス分野の産業振興とスタートアップ支援を目指す「次世代スマートヘルススタートアップ創出事業」を大阪府から受託。支援スタートアップ100~150社程度の選定、スマートヘルスケア分野の製品やサービスを紹介するWEBサイトの立ち上げ、健康経営志向企業や保険組合等とのマッチングイベントを実施 - 大阪ヘルスケアパビリオンへの出展準備を実施 【気付き・課題】 「健康経営」に関心を持つ企業は多く、その具体取り組みを促すサービス提供が求められている		
2025 年度	- 取り組みテーマの拡充とチーム組成 - 融合領域におけるビジネス化 「大阪ヘルスケアパビリオン」出展 - 万博会場外の、大阪市内におけるショーケースの検討		【内容】 - 大阪府の委託事業実施を通じ、健康経営企業へのスマートヘルスサービスの導入実証を支援 - 取り組みを通じて、ヘルスケア分野のビジネス環境整備等に関する政策提言や規制緩和要望をとりまとめ 【スケジュール】 - 大阪ヘルスケアパビリオン出展の確実な実施 4月29日~5月12日：リボンチャレンジ出展「ウェルネスの未来を拓く「カラダの健康と美容」「ココロとアタマの健康」」 4月以降：企業参画型実証事業 6月：インテックス大阪で開催される国際展示会JAPAN HEALTHや、万博会場内のメッセ会場やFuture Life Expoでの展示		



▲ウェルネスオフィス・プロジェクトにおけるスタートアップ支援事業

⑪ 評価指標

2023

2024

参加企業数

734社

646件

実証件数

27件

48件

⑮ 評価指標

2023

2024

マッチング件数

578件

231件

事業化支援件数

37件

70件

応募案件数

66件

60件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑩ 多国間メドテックアクセラレーション事業

ライフサイエンス

目的

医療・ヘルスケア関連のスタートアップ・既存企業のグローバル市場展開支援と
そのための国際ネットワーク構築

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・メドテックアクセラレーションプログラム(医療系スタートアップの発掘、育成、既存企業の新事業展開支援)の実施	【実績】 ・豪州の医療系アクセラレーター「メドテックアクチュエーター」とともに、国内外の医療系スタートアップを発掘・育成する「ORIGIN」事業と、国内のスタートアップや大阪・関西の中堅・中小企業の海外展開を支援する「GLOBAL NAVIGATOR」事業を実施 ・メドテックアクチュエーターと連携協定を締結
2024年度	・日本、豪州、シンガポール、インドの4カ国の支援ネットワークの構築	【実績】 ・メドテックアクチュエーターが日本事務所を大阪に開設。両者が連携して、大阪がハブとなるグローバルなエコシステム構築をスタート ・「ORIGIN」事業に国内スタートアップ26社、「GLOBAL NAVIGATOR」事業に8社が参加 【気付き・課題】 ・国内のメドテック・ヘルステック分野のスタートアップのレベルが高まってきている ・国内参加者が増加しており、海外展開を支援するプログラムとして定着しつつある 
2025年度	・最終ピッチコンテストの大阪誘致	【内容】 ・豪州、シンガポール、インド、日本等、各国から選抜された医療・ヘルスケアスタートアップのピッチコンテスト決勝戦「ORIGIN Gala Final 2025」を大阪で初めて開催 ・海外5～6カ国と日本のスタートアップ両方を対象に日本市場における事業展開を支援するプログラム「グローバルナビゲータJAPAN」を実施。医療機関の課題把握やキーオピニオンリーダーとのネットワーク構築、薬事や保険制度に関するレクチャー、大手企業との個別マッチング等をトータルで提供し、日本でのビジネス展開を支援 【スケジュール】 ・6月～：全国を対象に、参加スタートアップ募集活動 ・9月後半：大阪市内で決勝戦を開催

◀メドテック
アクチュエーター
連携事業
スタートアップ
ピッチコンテスト
決勝戦

評価指標	2023	2024
参加企業数	23社	34社
支援件数	10件	11件
事業化・投資件数	1件	1件

2. ウェルネスビジネス創出プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑪ 医療機器ビジネスの途上国市場開拓支援

ライフサイエンス

目的 途上国を対象とした医療機器ビジネスの海外展開・販路開拓支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・ JICA等と連携し、途上国を対象とした販路開拓の体制を検討・構築	【実績】 ・ 新たにモンゴルの現地医療関連企業、病院から課題を汲み取り、企業とのマッチングを開始
2024年度	・ 販路開拓や現地ニーズを反映した共同開発を支援	【実績】 ・ JICAとの連携を継続実施。過去にマッチングした案件のフォロー実施。コートジボアール、カンボジア、サウジアラビア、バングラデシュ等で事業化実現 ・ バングラデシュを対象に医療分野ビジネスマッチングセミナーを開催し、現地医療機関からニーズ発表。 【気付き・課題】 ・ 多様な企業が途上国展開に関心を持ち、複数国でビジネス展開する企業も出始めている
2025年度	・ JICA等と連携し、他の途上国への取り組み拡大	【内容】 ・ 今後成長が見込まれるグローバルサウスや途上国の医療関連市場に対し、現地の医療機関の課題を提示してもらい、医療機器、設備、用具・用品、サービス等の開発や販路開拓をめざす日本企業の事業展開を、JICAやJETROの現地事務所とともに支援 ・ 日本アセアンビジネス促進プラットフォーム経由のニーズに対応するほか、これまでのマッチング案件をフォロー 【スケジュール】 ・ 年度後半～：具体事業の展開



バングラデシュのシップインターナショナルホスピタル

評価指標	2023	2024
マッチング件数	18件	10件
共同開発・事業化件数	18件	18件(支援中)
進出支援件数	7件	7件

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑱ 都市魅力の再構築

都市活性化

目的

万博に向けてまちづくりが進む大阪都心の魅力の再構築と国内外への効果的な発信 / 郷土愛と誇り「シビックプライド」の醸成に向けた取り組み推進

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 万博開催時の魅力発信事業(シティエキシビジョン)の検討 「水と光のまちづくり推進会議」傘下団体の活動支援 「なにわなんでも大阪チャレンジ(仮称)」の検討・実施	【実績】 - 万博開催時のまちなかの取り組みを一体的に発信する仕組みを準備会で具体検討。実験事業「まちごと万博カーニバル」を開催 - 万博開催時の水上航路に関する説明会、夢洲と「水の回廊」を結ぶ特別クルーズを実施 - WEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」を3回実施
	- 万博開催時の魅力発信事業(シティエキシビジョン)の準備 「なにわなんでも大阪チャレンジ」検証と改定	【実績】 「水と光のまちづくり推進会議」の会長団体として「水都大阪コンソーシアム」の活動(万博航路実証クルーズ実施等)や「大阪・光の饗宴実行委員会」による大阪・光の饗宴2024の実施等を支援 「大阪まちごと万博共創プラットフォーム(PF)」をスタートし、プロジェクト60件を登録。「大阪まちごと万博交流会」を開催し(のべ129人参加)、エリアを持つ団体とコンテンツを有する企業・団体との共創を促進。万博半年前のイベントを一体的に情報発信する「まちごと万博2024秋」を実施し、イベント22件をWEBサイトで一体的に発信。「まちごと万博決起集会」を(一社)demoexpoとPFで共催 (地独)大阪市博物館機構と共同でWEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」を4回実施 【気付き・課題】 - 万博関連イベントのまちなか開催や他団体との交流、一体的な情報発信へのニーズが高い - WEBクイズでEXPO2025デジタルウォレットや大阪市公式SNSを活用したところ参加者が大幅に増え、全国37都道府県から参加があり、若年層の割合も高まった
2025年度	- 万博開催時の魅力発信事業(大阪まちごと万博共創プラットフォームでの情報発信)の実践、それ以降の推進検討 「なにわなんでも大阪チャレンジ」の継続実施 - モビリティを核としたスマートシティの検討	【内容】 「水都大阪コンソーシアム」や「大阪・光の饗宴実行委員会」の活動を継続支援 「大阪まちごと万博共創プラットフォーム」の運営を通じ、万博に関連したまちなかでのイベントを一体的に発信。万博のレガシーとなるよう、終了後の推進体制を検討 - WEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」を継続実施(万博会期に連動、3回実施) - 新たに、モビリティを核に、企業や市民、生活施設等が参画し、利便性快適性の向上を図るスマートシティの形成を検討 【スケジュール】 4月～10月：まちごと万博のプロジェクト・イベントを一体的に発信。万博会期にあわせてWEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」を実施

評価指標		2023	2024	評価指標		2023	2024
エリアマネジメント推進企業・団体等と連携した万博開催時の魅力発信事業(シティエキシビジョン)の活動実績		12件	60件	「なにわなんでも大阪チャレンジ」参加者数		のべ4,320人	のべ6,125人
「水と光のまちづくり推進会議」傘下団体の活動実績		27件	28件				

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑬ グレーターミナミの活性化

グレーターミナミ

目的 大阪府南部(泉州・南河内エリア)と大阪都心南部(難波、新今宮、阿倍野・天王寺・上本町エリア)の一体的な発展・活性化

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- グレーターミナミ連携会議の構成メンバーが取り組む産業振興や観光交流等具体的なプロジェクト支援、進捗・成果の広報 - グレーターミナミエリアの活性化につながる大商事業との連携強化 - 大阪都心南部の「グローバル育成協議会」の活動の広報支援	【実績】 - グレーターミナミ活性化シンポジウムを開催し、地域活性化プロジェクトの進捗・成果を紹介、163人が参加 - グレーターミナミ推進委員会を新設 - グローバル育成協議会において、外国人誘致・居住促進に向けた活動を支援
2024年度	- グレーターミナミエリアの魅力づくりの推進 - グレーターミナミにおける活性化プロジェクト組成に向けた支援 - グレーターミナミシティにおける取り組み - 安全安心のまちづくり	【実績】 - 遠北グレーターミナミ推進委員長がエリアの首長や商工会議所会頭を訪問し、「グレーターミナミ活性化に向けた調査・提言」の共有と各地の取組現況の把握を行い、意見交換 - グレーターミナミ推進委員を対象に、グレーターミナミの活性化に向けた具体的なプロジェクトの状況を調査 - グレーターミナミ活性化シンポジウム～地域を輝かせるブランディングとは」を読売新聞とともに岸和田市で開催し、約200人が参加。地域活性化プロジェクトの進捗・成果を紹介 「グローバル育成協議会」に参加し、外国人誘致・居住促進に向けた活動を支援 【気付き・課題】 - 地元自治体や商工会議所からは、地域活性化に向けてグレーターミナミ推進委員会と連携することに賛同する意見が多かった
2025年度	- グレーターミナミ地域のブランディングに資する活動の実施 - グレーターミナミシティにおける取り組み - 安全安心のまちづくり	【内容】 - 地元自治体や商工会議所、企業等と連携し、新たに、食・観光振興をテーマに地域のブランディングに資する活動を実施 「グローバル育成協議会」への参画、安全安心のまちづくりの推進 【スケジュール】 4～3月：グレーターミナミの商工会議所会報誌を活用し、「食体験」に関する情報を発信 7～10月頃：万博開催時に訪れる外国人を対象としたグレーターミナミモデルツアーを実施 9月頃：グレーターミナミの「食」の魅力を一体的に発信する企画列車を実施 1～2月頃：グレーターミナミ活性化シンポジウムを開催

評価指標	2023	2024
プロジェクト支援	6件	6件

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑳ 食のまち・大阪のブランド向上

食料

ツーリズム

目的 大阪の食の魅力引き上げと海外への効果的な情報発信による大阪の食ブランドの向上

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- シェフズアカデミーの開催 - ポップアップレストランの企画・実施 - 国内外への情報発信 - 大阪発の新たな食の基準づくりへの参画・活用方法検討	【実績】 - 通常廃棄される食材を活用することでフードロス問題を考えるイベント“HAJIKKO RESTAURANT”を大阪府環境農林水産総合研究所等と連携して新たに開催 - 大阪とバルセロナのシェフが共創や挑戦を図るコラボイベント”World Food Market series SPAIN”を開催。大阪が誇る上質な食と伝統芸能(文楽)を組み合わせたインバウンド向けツアーを試験的に実施
2024年度	- 海外シェフとのネットワーク構築 - 新たな食基準の、大阪の飲食店等へのPR - 万博の機会をとらえた食イベントの企画	【実績】 <万博メニューでおもてなし> - 飲食店が独自の万博メニューを紹介するプロジェクトをスタート - 説明会やSNS活用勉強会を通じてSNSを活用した集客と情報発信を支援。 - 万博メニューのエントリーは68件(2025年2月6日) <大阪まちごとバル> ①東横堀川・道修町(くすりのまち等)、②北加賀屋(アートスポット等)、③グレーターミナミ(泉佐野の海・山の魅力)、④大正区(水辺の魅力)の観光・飲食スポットを紹介するショート動画を計17本(2025年2月6日)制作、SNS投稿した。 【気付き・課題】 - 中小飲食事業者の万博に関わりたいとのニーズに合致した - 大商・観光局の拡散により幅広い層に情報を届けることが必要  SNS投稿動画のサムネイル
2025年度	「万博メニューでおもてなし」を通じた大阪の食の魅力発信と周遊促進 - 海外パビリオン併設レストランの名物料理紹介等、食を切り口にした万博来場促進	【内容】 - 万博メニューを引き続き募集・情報拡散し、万博来場者のまちなかでの食べ・飲み歩きを促進 - 新たに府内周遊につなげるため、SNS上での展開に加え、オフラインのPR活動(ポスター、ステッカー等)を強化 【スケジュール】 4～10月：万博メニュー募集・情報拡散 4月21日：大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ催事(万博メニュー販売等)

評価指標	2023	2024
参加店舗数	16件	49件
参加者数	3,607人	74人
広報実績	57件	23件

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②1 富裕層の戦略的誘致と滞在交流型観光の推進

ツーリズム

目的 大阪の観光魅力発信と受け入れ環境整備 / IR区域整備計画の認定を機とする観光関連ビジネスの拡大

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「トラベルデザイナー」の育成検討 - 食やエンターテインメント・文化等、富裕層向け観光コンテンツ開発支援 - SNSを活用した大阪の観光魅力の募集、発信 「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」出展支援	【実績】 「ツーリズムEXPOジャパン2023大阪・関西」に設けた特別ブースに企業9社が出展、販路拡大を支援 - 東京商工会議所と万博の機運醸成や広域周遊促進に連携して取り組む包括連携協定を締結 「#大阪ええやん知らんけどInstagram投稿キャンペーン」を実施し、7,304件の投稿を得て新たな観光魅力を発信
2024年度	「トラベルデザイナー」のオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)による育成支援 - IRビジネスに関するセミナー等の実施	【実績】 - 高付加価値化を目指し、観光コンテンツを保有する事業者を対象に、コンテンツを旅行商品として販売する際の基礎資料として使用する「タリフ」の作成・添削から、旅行会社等に向けたピッチまで一気通貫で支援する「観光『タリフ』作成&販路開拓まるごと支援実践講座」を開催。7社参加 - 大阪府・市IR推進局と連携し、IRビジネスセミナーを2回開催 【気付き・課題】 - 海外富裕層のニーズに精通したコーディネーターの指導により、新たな事業機会を発見できた
2025年度	万博開催時の観光魅力発信、高付加価値化	【内容】 2030年開業予定の大阪IRとの連携について、物品調達や周遊観光等、地元への経済波及をめざして具体策を検討 - まちごとバルプロジェクトと連動し、大阪の観光魅力をSNSで発信 【スケジュール】 4～10月：万博を視察する全国商工会議所に対する大阪の観光・食情報の提供 11月～：IR事業者との意見交換や海外IRの最新動向視察 等



講座の開催の様様

評価指標	2023	2024
観光コンテンツ事業化件数	3件	7件
広報実績	57件	0件
マッチング件数	208件	21件

3. 都市魅力再構築プロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②② 商店街観光の振興

流通活性化

目的 商店街の振興・活性化、情報発信による国内外からの集客力強化

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- スマートフォン活用、地域観光資源活用等新たな観光振興事業の検討、実験実施 - 他地域の商店街観光の取り組みを紹介するセミナー、シンポジウム等の開催 「100円商店街」等の集客イベントの開催支援	【実績】 - グーグルマップへの登録支援を6商店街で実施 - 玉造日之出通南商店街と周辺神社が連携し、御朱印を提示すると商店街で特典が得られる取り組みを新たに実施 - ICT活用を促進する「商店街シンポジウム」を開催 「100円商店街」実施を15回支援
2024年度	商店街の観光振興に向けた事業の実施	【実績】 - 文の里商店街で「グーグルマップ活用セミナー」開催 - あべのベルタで「レトロビルフェスティバル」開催 - 商店街シンポジウム開催 100円商店街を6か所12回開催 - 開運商店街in玉造・鶴橋を継続実施 - 商店街内に期間限定で出店する「商店街ちょい売り商談会」を千林商店街でテスト実施 【気付き・課題】 「レトロビル商店街」はマスコミ取材が多く、情報発信に奏功 「商店街ちょい売り商談会」は実際の出店にも繋がり、他商店街でも実施ニーズあり  あべのベルタでの「レトロビルフェスティバル」
2025年度	万博開催にあわせた商店街時の魅力発信	【内容】 - 万博開催時にインバウンド観光客が商店街を楽しむ「商店街で朝食を」を、大阪市商店会総連盟とAirbnb Japan(民泊事業者)とともに実施 「商店街ちょい売り商談会」を本格実施、出店希望者と商店街関係者との商談機会を設定 「100円商店街」「開運商店街」「レトロビル商店街」等の事業実施 【スケジュール】 - 年度内に随時実施

評価指標	2023	2024
支援事業実施件数	17件	16件

4. まちなかりビングラボプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑬リビングラボの推進

都市活性化

産業・スタートアップ

デジタル変革

目的 企業や住民等の参画による新たな価値やビジネスの創出

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「まちなかりビングラボ」構築の具体化に向けた検討、具体化 - 都心型オープンイノベーション拠点「Xport」におけるマッチング支援事業、人材育成プログラムの実施 「コモングラウンド・リビングラボ(CGLL)」における実証支援 「After2025デザインネットワーク」における万博後の取り組み検討、具体化	【実績】 - 新たに大阪公立大学や民間企業等とともに「大阪城東部地区イノベーション・フィールド・シティ具体化検討会 スマートモビリティ分科会」を設置し、検討を開始 - Xportでは、「会員情報交換会」等のネットワーキング・マッチング事業や、企業の課題に学生チームが解決提案する産学連携PBLプログラム「RDクラブ」等を実施。また、スタートアップの遠隔受付システムの実証実験を実施
2024年度	- 都心型オープンイノベーション拠点「Xport」におけるマッチング支援事業、人材育成プログラムの実施 「コモングラウンド・リビングラボ」における実証支援	【実績】 - Xportでは「RDクラブ」を実施、10社が参画 - スタートアップの発信力を強化するセミナーを開催 - CGLLはグッドデザイン賞を受賞、海外からの視察等のPR活動を強化 【気付き・課題】 - RDクラブは、企業のオープンイノベーション促進に加え、人材確保に役立っている(参加学生の採用に至る例もあり)  Xport「発信力強化セミナー」
2025年度	都心型オープンイノベーション拠点「Xport」におけるマッチング支援事業、人材育成プログラムの実施	【内容】 - コモングラウンド・リビングラボプラットフォームの万博会場での展開支援 - Xportの運営 【スケジュール】 - Xport事業は通年 - CGLLの万博会場での展開は期間限定(2025年9月30日～10月6日)

評価指標	2023	2024
参加企業・者数	8者(検討会) 45者(CGLL) 127社・人(Xport)	8者(検討会) 45者(CGLL) 106社・人(Xport)

4. まちなかりビングラボプロジェクト

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②4 実証事業の推進

デジタル変革

目的 企業や住民等の参画による新たな価値やビジネスの創出

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「実証事業推進チーム大阪」による実証実験支援 - 実証フィールドの拡充、国内外へのPR	【実績】 大阪府・大阪市・民間企業等と連携した実証実験を支援
2024年度	「実証事業推進チーム大阪」による実証実験支援 - 都心シンボリックな空間での実証支援 - エリアマネジメント団体と連携した実証支援	【実績】 (独)都市再生機構とともに、大阪城東部地区((独)都市再生機構森之宮団地等)での実証実験を募集、18件のエントリーから12件を選定(調整出来た案件から実証) - 実証実験の受け入れに関心のある企業に対して「実証実験支援先見学会」を3回開催 - 大阪府・大阪市・民間企業等と連携した実証支援も実施 【気付き・課題】 - 大阪城東部地区((独)都市再生機構森之宮団地等)のように、市民(団地住民)を巻き込むことができる実証フィールドのニーズが高い
2025年度	- 都心シンボリックな空間での実証支援 - エリアマネジメント団体と連携した実証支援	【内容】 - 都心シンボリックな空間(特定フィールド)での実証支援を検討 「実証事業推進チーム大阪」での実証実験実施支援 - 大阪での実証実験実施を啓発するセミナーの開催 【スケジュール】 - 通年。ただし、特定フィールドでの実証実験は期間限定



11月 UR森之宮団地で
ドローン物流実証実験を実施

評価指標	2023	2024
実証支援件数	5件	実証事業推進チーム大阪で支援した実証実験：4件 大阪城東部地区で実施した実証実験：10件

2025年大阪・関西万博に向けた事業推進

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②5 万博に向けた機運醸成・参画支援

万博協力推進本部

目的 2025年大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成・参画支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 万博の機運醸成活動の展開 - 万博への参画に関する情報提供 - 万博開催時の来訪者受け入れの検討	- 関西商工会議所連合会「2025年大阪・関西万博機運醸成WG」を設置し、一体的なPRを展開。鳥井会頭を座長、廣瀬副会頭を副座長とする「万博懇話会」を4回開催し、議論内容を関係先に共有 - 万博関連情報をメール配信、ホームページ、機関紙等で発信し、機運醸成や前売り入場チケットの販売を促進。企業参加メニューを紹介する説明会等を13回開催
2024年度	- 万博の機運醸成活動の展開 - 万博への参画に関する情報提供 - 万博開催時の来訪者受け入れ準備	【実績】 「万博懇話会」での議論を取りまとめ、石毛2025年日本国際博覧会協会事務総長に提案 - 世界経済フォーラム グローバル・シェイパーズ・コミュニティと連携し、テーマウィーク事業で取り上げるテーマ毎に、次世代人材と専門家の意見交換を計8回実施 - メールやFacebook、大商ニュース、会合等を通じて万博関連情報を発信 - 関西商工会議所連合会「2025年大阪・関西万博 機運醸成WG」で、EXPO2025デジタルウォレットを活用した「関西周遊NFTスタンプラリー」を開始。12月時点で48会議所が参加 - 大阪、名古屋、横浜の3商工会議所で国際的イベント機運醸成に向けた包括連携協定を締結 - 万博時の交通混雑緩和に向けた「万博TDMパートナー」の登録を促進、TDMトライアルを実施 - 万博前売り入場チケットの販売促進、申込受付 - 本会議所が万博の広報素材を提供し、全国商工会議所の会報誌で万博見どころ紹介記事を掲載 - 全国商工会議所からの会期前視察を24回受入れ
2025年度	- 万博の開催支援 - 万博開催時の来訪者受け入れ	【内容】 - 万博会期中のテーマウィークにおいて、世界経済フォーラム グローバル・シェイパーズ・コミュニティが開催する調査研究の成果発表会を支援 - メールやFacebook、大商ニュース、会合等を通じた万博関連情報の発信 「万博TDMパートナー」の登録促進、TDM実施支援 - 万博入場チケットの販売促進、申込受付 - 全国商工会議所からの視察受け入れ - 名古屋、横浜の商工会議所と連携した国際的イベントの機運醸成活動を実施 【スケジュール】 4～10月：万博の開催支援と全国商工会議所の視察受け入れを実施

評価指標	2023	2024
万博の機運醸成活動の実績	400件	416件
万博への参画に関する情報提供の実績	30件	21件

2025年大阪・関西万博に向けた事業推進

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②⑥ 大阪ヘルスケアパビリオン出展支援

万博協力推進本部

目的 大阪の中小企業・スタートアップの万博への出展支援 / 出展を通じた国内外へのPR

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 中小企業・スタートアップ展示ゾーンの運営準備 - 各テーマにおける出展企業募集等の準備	- 週替わりの展示企画全26テーマで出展企業を募集し、決定 - 本会議所が支援する5件の展示企画も、合同説明会や、テーマごとの募集、グループ化等の準備を進め、出展企業を決定
2024年度	- 中小企業・スタートアップ展示ゾーンの運営準備 - 各テーマにおける出展企画準備	【実績】 - 展示企画確認会を開催し、各過リボンチャレンジの展示内容について確認 - リボンチャレンジ実施主体に向けて出展ガイドラインや万博会場内の物流等に関する情報を提供 - ホームページやSNS等で広報活動を実施 - 追加選定した企業を含む最終的な出展企業441社を発表するとともに、出展企業の展示発表会を開催し、マスコミ20社が取材 - 出展企業を毎週の展示企画毎に紹介する広報紙(Vol.1、Vol.2)を発行 【現場情報・気付き】 - 出展企業発表後、マスコミからの取材依頼が増加
2025年度	中小企業・スタートアップ展示ゾーンの運営	【内容】 - 全展示企画の広報支援、運営支援 - 新たに、小・中学生、高校生向けの来場促進PRを実施 - 本会議所が支援する5件の展示企画の実施 【スケジュール】 4～10月：会期中の運営支援、本会議所が支援する5件の展示企画の実施 4月：大阪府内の小・中学生、高校生向けPRチラシの発行 6月：広報紙(Vol.3)の発行



リボンチャレンジ出展企業
441社の発表

評価指標	2023	2024
中小企業・スタートアップ展示ゾーンへの 参画・支援実績	377社	441社

2025年大阪・関西万博関連事業

産業振興

- **大阪ヘルスケアパビリオンリボンチャレンジ出展支援** ②⑥
 - (1) ウェルネスを実現するテクノロジーと空間
～カラダ(フィジカル)の健康と美容を実現するオフィス～
～ココロとアタマの健康を目指したオフィス～
 - (2) Series A; セレクション～輝く未来社会の創り手ここにあり～
 - (3) サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト
 - (4) 身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！
- **グローバル・イノベーションフォーラム(GIF)ミートアップ** ④
 - 海外スタートアップの万博来阪時をとらえ、
ピッチイベントとマッチング会を開催
- **Doco Demo Festival Osaka(DD Fes)** ⑤
 - 国によるスタートアップ支援イベント「Global Startup EXPO 2025」
連携イベントとして、国内外のスタートアップが開発中の製品や
サービスをまちなかで披露するイベントを開催
- **大阪スマートヘルスプロジェクトの万博関連展示** ⑬
 - アプリやデバイスなど「スマートヘルス」分野のスタートアップ展示
(EXPOメッセ「WASSE」、フューチャーライフヴィレჯエリア、
国際見本市「Japan Health」等)
- **メドテックスタートアップピッチコンテスト決勝戦「ORIGIN Gala Final 2025」** ⑬
 - 国内外から選抜されたスタートアップに、
大企業や投資家が投資するピッチコンテストを大阪で初開催
- **メドテックスタートアップの日本市場展開支援プログラム** ⑬
 - 全国の医療機関と連携し、日本での事業展開を支援
- **コモングラウンド・リビングラボプラットフォームの万博会場での展開支援** ②③
 - 「人とロボットが共通認識を持つ未来社会」を期間限定で実現
- **世界経済フォーラム グローバル・シェイパーズとの連携** ②⑤
 - テーマウィークにあわせ、調査研究の成果発表会開催を支援
- **万博関連受発注支援サイト** ③⑦
 - 大阪府と連携し、「万博商談もずやんモール」を運営
- **日本アセアン
ビジネス促進プラットフォーム(AJB)EXPO2025** ③⑧
 - 大阪とアセアン6カ国の商工会議所会頭による
代表者会議、シンポジウム、商談会を開催

	2025	4	5	6	7	8	9	10
大阪ヘルスケアパビリオンリボンチャレンジ出展支援		(1)4/29~5/12				(2)8/12~18	(3)9/23~29	(4)10/7~13
グローバル・イノベーションフォーラム(GIF)ミートアップ		万博期間に伴い随時						
Doco Demo Festival Osaka(DD Fes)				時	期	未	定	
大阪スマートヘルスプロジェクトの万博関連展示		5/6~12	6/17~23	6/25~27	国際見本市「Japan Health」 フューチャーライフヴィレჯエリア EXPOメッセ「WASSE」会場			
メドテックスタートアップピッチコンテスト決勝戦「ORIGIN Gala Final 2025」							9月中旬	
メドテックスタートアップの日本市場展開支援プログラム		6月～						
コモングラウンド・リビングラボプラットフォームの万博会場での展開支援							9/30~10/6	
世界経済フォーラム グローバル・シェイパーズとの連携		4/25~5/6	5/15~5/26	6/5~6/16	6/20~7/1	7/17~28	8/1~12	9/17~28 10/2~12
万博関連受発注支援サイト		～2026年3月末						
日本アセアンビジネス促進プラットフォーム(AJB)EXPO2025		4/21						

2025年大阪・関西万博関連事業

都市魅力創出

● 大阪まちごと万博共創プラットフォーム ⑱

- ・ まちなかでのイベントやプロジェクトを一体的に発信

● WEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」 ⑱

- ・ 万博会期に連動して実施

● グレーターミナミモデルツアー ⑲

- ・ 万博開催時に訪れる外国人を対象にしたモデルツアーを実施

● 万博メニューでおもてなし ⑳

- ・ 飲食店が独自の万博メニューを紹介、府内周遊観光につなげる

● 大阪まちごとバル ㉔

- ・ 観光・飲食スポットをショート動画で紹介、府内周遊観光につなげる

● 万博に併せた商店街集客事業「商店街で朝食を」 ㉔

- ・ 万博開催時にインバウンド観光客が商店街で朝食を楽しむ

● 大阪企業家ミュージアム ㉔

- ・ 万博を紹介するパネルの展示

● 女性会 ウーマンズパビリオンへの出展

- ・ 女性経営者や海外女性外交官によるトークイベントを主催

2025	4	5	6	7	8	9	10
大阪まちごと万博共創プラットフォーム	常時						
WEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」	万博開催期間中						
グレーターミナミモデルツアー				7月～10月頃			
万博メニューでおもてなし	常時						
大阪まちごとバル	常時						
万博に併せた商店街集客事業「商店街で朝食を」	4月～12月						
大阪企業家ミュージアム	万博開催期間中						
女性会 ウーマンズパビリオンへの出展	4/23						

Ⅱ．経営基盤強化パッケージ

5. 稼ぐ力強化パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②⑦ 経営基盤強化

企業成長支援

目的

中小企業の経営課題解決と成長の支援による地域経済の活力維持・雇用確保 / 各種保険の活用による企業の事業リスク軽減 / 大阪における創業の促進

主な取り組み

進捗・計画

2023
年度

- 資金繰り支援、外部専門家相談、BCP(事業継続計画)策定支援
- インボイス制度対応支援
- 各種保険の普及促進
- 会員、部会員同士の交流促進のための講演会や視察会実施

【実績】

- 経営指導員による資金繰り・金融、事業計画の策定等の支援や施策に関する情報提供を実施
- BCP策定支援セミナーを実施
- 施策普及員が個別訪問しインボイス対応状況を確認

2024
年度

- 資金繰り支援、外部専門家相談の実施、BCP(事業継続計画)策定支援
- 各種保険の普及促進
- 健康経営を支援するセミナーや個別相談会の実施
- 課題解決マッチングフェアの実施
- 女性起業家支援のためのセミナー・勉強会の実施

【実績】

- 各種専門相談に対応
- 中小企業の課題(海外進出、脱炭素、DX等)解決を支援する機関が一堂に会する「課題解決型マッチングフェア」の開催
- 健康経営セミナーと個別相談会開催(2回、769人参加、相談17社)、健康経営相談(月1回、23社)
- 女性起業家セミナー(154人)、女性起業家カフェ(勉強会)(76人)の開催
- 小規模交流会「びじこね」「ふらっと」、「新入会員の集い」、「ビジネス講演会・交流会」、「在阪支社長、支店長と大商役員・議員との懇談会」、「会員交流大会」の開催

【気付き・課題】

- 女性起業家間のマッチングや情報交換、ネットワーク構築へのニーズが高い
- 経営者の健康経営に関する理解促進と戦略的実践のサポート策が必要

2025
年度

- 資金繰り支援、外部専門家相談の実施、BCP(事業継続計画)策定支援
- 各種保険の普及促進
- 健康経営を支援するセミナーや個別相談会の実施
- 女性起業家支援のためのセミナー・勉強会の実施

【内容】

- 健康経営セミナーを開催し、経済産業省「健康経営優良法人」取得や、協会けんぽ「健康宣言」事業参加を促進。大阪スマートヘルスプロジェクトと連携し、デジタルツールを活用した健康経営支援を実施
- 女性起業家を対象とした創業ノウハウの提供、開業資金の調達、メンターや金融機関等とのコミュニティ構築支援に加え、新たにテストマーケティングの機会を提供し販売促進を支援
- 小規模交流会「びじこね」、「ふらっと」、「ビジネス講演会」、「新入会員の集い」、「在阪支社長、支店長と大商役員・議員との懇談会」、「会員交流大会」を開催

【スケジュール】

- 通年

評価指標

2023

2024

支援企業(参加者)数

4,959者

3,781者

3保険の新規契約者数

424件

319件

評価指標

2023

2024

会員交流事業参加者数

1,233人

1,758人

5. 稼ぐ力強化パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

⑳ 事業再生・事業承継支援

企業成長支援

目的 中小企業の事業再生、収益力改善、事業承継支援等による、地域経済の活力維持・雇用確保

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 大阪府中小企業活性化協議会の運営、経営改善、事業再生、収益力改善、再チャレンジ支援 - 大阪府事業承継・引継ぎ支援センターの運営、事業承継計画策定支援	【実績】 - 大阪府中小企業活性化協議会において、窓口相談、再生計画等の策定、金融機関調整等の支援を実施 1年間の「収益力改善支援」で短期的な資金繰り確保・収益力向上の支援を行うとともに、中期的な事業再生計画の策定支援等を通じて事業の存続・雇用確保・経営力向上に貢献 - 金融機関との連携を強化するため、金融機関等を対象とした研修会・勉強会を42回開催 - 大阪府事業承継・引継ぎ支援センターを運営し、第三者承継支援や事業承継計画策定支援等、個社のニーズに即したハンズオン支援を拡充し、後継者問題を抱える中小企業の事業承継支援を展開 - 金融機関と連携し、案件発掘のための個別相談会を開催するとともに、専門家による相談対応、後継者不在の事業所に対するM&A支援、事業承継ネットワークの運営等を実施
2024年度	- 大阪府中小企業活性化協議会の運営、経営改善、事業再生、収益力改善、再チャレンジ支援 - 大阪府事業承継・引継ぎ支援センターの運営、事業承継計画策定支援 - 金融機関等と連携した案件掘り起こし、相談対応、ハンズオン支援	【実績】 - 大阪府中小企業活性化協議会において、窓口相談、再生計画等の策定、金融機関調整等の支援を実施 - 大阪府事業承継・引継ぎ支援センターを運営し、第三者承継支援や事業承継計画策定支援等、個社のニーズに即したハンズオン支援を拡充し、後継者問題を抱える中小企業の事業承継支援を展開 【気付き・課題】 - 活性化協議会は、資金繰りが厳しい企業からの相談が多く、支援の途中で倒産や事業継続を断念する企業が増加している - 事業承継・引継ぎ支援センターは、経営内容が厳しい企業からの相談が多い。創業希望者からの買い相談が増えてきており、裾野が広がっている
2025年度	- 大阪府中小企業活性化協議会の運営、経営改善、事業再生、収益力改善、再チャレンジ支援 - 大阪府事業承継・引継ぎ支援センターの運営、事業承継計画策定支援 - 金融機関等と連携した案件掘り起こし、相談対応、ハンズオン支援	【内容】 - 活性化協議会では、金融機関や他の支援機関等と密に連携しながら事業運営を行うほか、三機関連携による合同相談会を実施 - 弁護士の専門家が再チャレンジ支援に加え、個別の事業再生案件も担当し、抜本再生案件の支援を迅速化 - 事業承継・引継ぎ支援センターでは活性化協議会等と連携した相談会を実施するほか、他の支援機関とも連携しながらハンズオン支援を実施 - 弁護士資格を持つ常駐専門家を任用。トラブルを回避するため、法的課題への適切なアドバイスを実施 【スケジュール】 - 通年

【事業再生・
収益力改善支援】

評価指標	2023	2024
窓口相談件数	436件	406件
支援完了件数	122件	85件

【事業承継支援】

評価指標	2023	2024
相談対応件数	1,181件	897件
成約件数	124.5件	109.5件
事業承継計画策定支援件数	82件	77件

31

5. 稼ぐ力強化パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

②9 収益力強化

企業成長支援

目的

デザイン思考・サービスデザインを活用した中小企業の新事業創出・企業変革の支援 / 中小企業の高付加価値商品開発と脱OEM・下請け支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「デザイン思考/サービスデザイン」を用いた実践型研修の実施 - 高付加価値商品開発のためのワークショップ、成果発表・マッチング会の開催	【実績】 - デザイン思考の実践型ワークショップ、新事業創出の個社への伴走支援を実施 - 新たに新商品開発ワークショップを実施、バイヤーへの成果発表・マッチング会を開催
2024年度	「デザイン思考」を用いた新サービス創出をめざすワークショップ、専門家による事業化までの支援の強化 - 自社ブランド商品の開発を支援するゼミ、バイヤーとのマッチング、商品化までの伴走支援や商業施設・展示会出展等の支援 - アイデア創出や既存商品の改善による実現可能性の高い開発を支援するワークショップ、個別相談、伴走支援	【実績】 - デザイン思考セミナー 127人、デザイン思考ワークショップ(4回)延べ96人 - ものづくり企業のためのブランディングセミナー 65人、新商品開発ゼミ(4回)延べ110人 - ゼミ卒業生が新たに開発したBtoC商品をなんばマルイにて展示・出店 - プロダクト・イノベーション創出相談会4社、新規事業・新商品開発セミナー76人、新規事業・新商品づくり方ワークショップ、相談会、伴走支援3社 【気付き・課題】 - 新商品開発の壁を乗り越えるためには、ゼミ終了後も開発までのディレクション支援が必要 - プロダクト・イノベーション創出伴走支援では、参加者にコンセプト構築の重要性への理解を深め、企業の問題解決能力や市場への適応力を高めた
2025年度	- 自社ブランド商品の開発を支援するゼミ、バイヤーとのマッチング、商品化までの伴走支援や商業施設・展示会出展等の支援 - 中小企業・スタートアップが応用力と創造力を持った製品を市場に投入する機会の提供	【内容】 - デザイン思考の普及啓発セミナー、新商品開発ゼミ、バイヤーとのマッチングに加え、商品化までの伴走支援や商業施設・展示会出展等を支援 - マーケティング力の向上に向け、専門家によるアドバイスとフィードバックを提供するプログラムの強化、<u>展示会への出展機会の拡充</u> <u>インバウンド観光需要が盛り上がるなか、新たに「インバウンド向け体験型消費コンテンツ創出支援事業」としてセミナーを開催</u> 【スケジュール】 5～6月頃：新商品創出セミナー、6月：デザイン思考の普及啓発セミナー、6～9月頃：プロダクト・イノベーション創出相談会、6～7月：ワークショップ(コンセプト構築、事業計画作成)、8月：ブランディングゼミ、9～11月：新商品開発ゼミ、10・11～2月：プロダクト・イノベーション創出伴走支援、11月：商業施設への出店、2月：大規模展示会への出展

評価指標	2023	2024
支援企業数	302件	370件

5. 稼ぐ力強化パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③0 生産性向上(IT導入支援)

企業成長支援

目的 ITの活用による中小企業の事務効率化と経営力強化

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	①「ITコンタクトデスク」における相談対応 ②「IT・ビジネスアプリ導入サポートデスク」における相談対応 ③ITツール紹介フォーラム開催 ④「商工会議所サイバーセキュリティお助け隊サービス」提供	【実績】 ②インボイス制度や電子帳簿保存法改正に対応するデジタル化を中心に支援 ③中小企業DXセミナーを開催 ④販売連携先を増やし、全国にサービスを拡大
2024年度	・IT導入状況に関するヒアリング ・専門家によるIT導入支援 ・セミナーの実施	【実績】 ・IT・ビジネスアプリ導入サポートデスクで生産性向上に資するデジタル化を中心に支援 ・中小企業DXセミナーを開催 ・「IT・ビジネスアプリ導入サポートデスク」における相談対応(随時) ・「ITコンタクトデスク」相談対応27社 ・「商工会議所サイバーセキュリティお助け隊サービス」は43都道府県ユーザ数590社769契約 【気付き・課題】 ・「ITコンタクトデスク」では、IT導入に活用できる補助金の問い合わせが多く見られた ・DXセミナーでは、自社にITスキルを持った人材がいない悩みが多く見られた
2025年度	・専門家によるIT導入支援	【内容】 ・一次的な相談窓口「ITコンタクトデスク」で課題に応じた支援メニューを紹介するほか、ITコーディネーターによる導入コンサルティング、専門事業者によるITサポートサービスを実施 ・「大商IT化推進サポーターズ」で、中小企業の業務効率化や生産性向上に資するITツールを、本会議所会員限定の優待特典で提供 ・中小企業のDXを推進するセミナーを年1～3回程度実施(他商工会議所等との連携開催) ・「商工会議所サイバーセキュリティお助け隊サービス」拡販、サイバー攻撃対策セミナーへの講師派遣 ・経営相談員のヒアリングをもとに専門家を事業所に派遣しITツールの導入や利活用を支援 ・新たに「SNS戦略勉強会(仮称)」を開催(秋～冬、1回)し、情報発信や販路開拓などの支援を強化 【スケジュール】 ・通年 ・6月～1月：DX推進セミナー

評価指標	2023	2024
支援企業数	340社	325社
サービス導入企業数	468社	652社

6. 人的資本強化パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③1 社会人の学び直し支援

人材育成

目的 企業活動の担い手である人材への投資促進による社会人の能力・スキルの向上

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	大学等と連携したリカレント・リスキリングプログラムの実施	【実績】 - 大阪・関西圏の大学と連携し、女性リーダーやデジタル人材の育成プログラムや、ダイバーシティ・マネジメント講座を実施 - 社会人向け実務研修を48講座実施。また、パソコン教室を5教室展開
2024年度	- 大学等と連携して高度専門分野人材の育成を目指し、リカレント教育プログラムを実施 - デザインソフトを活用したデザインスキルやプレゼンテーションスキルなどの実務講座を実施するとともに、パソコン教室を運営	【実績】 <大学との連携> 「女性リーダー育成カレッジ／関西学院大学」の実施(全3回、延べ154人参加 満足度96%) 「ダイバーシティ・マネジメント講座／関西大学」の実施(全3回、延べ74人参加 満足度96%) 「大学コンソーシアム大阪」作成の加盟大学が実施する社会人向け講座のポータルサイトの周知 「チェンバーカレッジ」の講師として大阪公立大学から年間2回登壇 <ITスキル> - デザインスキルやプレゼンテーションスキルなどの実務講座を延べ43講座実施(189人受講) - パソコンカレッジを延べ43講座実施(239人受講) - パソコン教室(5教室：天王寺、本町、京橋、新大阪、梅田)を運営(入学者1049人) 【気付き・課題】 - 大学との連携では、理論(学識者)と実践(企業関係者)の双方を学べるプログラム、参加者同士の交流を促す運営が参加者に好評
2025年度	- 大学等と連携して高度専門分野人材の育成を目指し、リカレント教育プログラムを実施 - デザインソフトを活用したデザインスキルやプレゼンテーションスキルなどの実務講座を実施するとともに、パソコン教室を運営 - 経営者のリスキリングを支援するため、経営者・経営幹部対象の経営塾を新たに実施	【内容】 <大学との連携> 「女性リーダー育成カレッジ／関西学院大学」の実施 「大学コンソーシアム大阪」作成の加盟大学が実施する社会人向け講座のポータルサイトの周知 <ITスキル> - デザインスキルやプレゼンテーションスキルなどの実務講座の実施(年間39講座予定) - パソコンカレッジの実施(年間36講座予定)、パソコン教室(5教室)の運営 <経営者向け> - 新たに、経営者向けリスキリング事業を試験的に実施 【スケジュール】 - 通年

評価指標	2023	2024
参加者数	1,256人	1,180人

6. 人的資本強化パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③② 多様な人材の活躍推進

人材育成

目的 女性、外国人、高齢者、障がい者等、多様な人材の確保及び活躍の推進

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 女性、外国人、高齢者、障がい者等の人材確保セミナー、マッチング 「活躍する女性リーダー表彰」の実施 「OSAKA外国人材受入促進・共生推進協議会」等への参画	【実績】 - 障がい者雇用への理解促進に向けたセミナー、外国人留学生の採用・活躍に成功している企業事例を紹介するセミナーを実施 - 前年度に引き続き「活躍する女性リーダー表彰」を実施し、38人が受賞 - 協議会に参画し、外国人材の受入・共生について議論
2024年度	- 外国人材活躍に向けて、大学等と企業による「外国人留学生採用のための情報交換会(仮称)」を新たに実施 - 技能実習制度に代わる新制度や女性・高齢者・障がい者・外部人材の活躍推進に関するセミナー等を実施 「活躍する女性リーダー表彰」を実施 「OSAKA外国人材受入促進・共生推進協議会」等への参画	【実績】 「外国人留学生採用のための情報交換会」(出展11学校、参加22企業、延べ面談83件) 「障がい者雇用促進セミナー」(56人)、「万博サクヤヒメ会議」(110人)、「副業・兼業人材活用セミナー」(24人)、「外国人留学生採用支援セミナー」(36人)、「大阪国際女性会議」(109人)、「カード・ゲーム」(28人)、「特定技能制度 活用促進セミナー」(52人)、きかせて！サクヤヒメ先生(35人) 「活躍する女性リーダー表彰」(受賞者40人 3月6日に式典・交流会 予定) - 女性活躍関連2回、障がい者雇用関連2回のセミナーを開催予定 【気付き・課題】 - 外国人材、障がい者、高齢者などの採用については、補助支援制度とともに、実際に活用している企業からの事例紹介が好評 「外国人留学生採用のための情報交換会」は参加した大学・企業の双方とも高い評価であったが、参加企業社数は想定を下回ったため、外国人材に関心がある企業への周知が課題
2025年度	- 外国人材活躍に向けて、大学等と企業による「外国人留学生採用のための情報交換会」 - 育成就労制度や女性・高齢者・障がい者・外部人材の活躍推進に関するセミナー等を実施 「活躍する女性リーダー表彰」を実施 「OSAKA外国人材受入促進・共生推進協議会」等に参画	【内容】 - 新たに、企業の関心が高い「イノベーション人材の育成事業」「オフィス現場でのIT人材育成」等の検討実施 「外国人留学生採用のための情報交換会」の実施 - 育成就労制度や女性・高齢者・障がい者・外部人材の活躍推進に関するセミナー等の開催 「活躍する女性リーダー表彰」の実施、女性リーダー表彰の受賞者らが設立した女性活躍推進団体との連携 「OSAKA外国人材受入促進・共生推進協議会」等に参画 【スケジュール】 - 通年

評価指標	2023	2024
参加者数	3,398人	2,008人
受賞者数	38人	40人

6. 人的資本強化パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③③ 若手人材の確保・活躍支援

人材育成

目的 若手人材の確保、キャリア形成の支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 若手人材のキャリア形成支援ワークショップ - 採用担当者同士の情報交換会 - 就職情報交換会 - 企業の採用担当者と学生の情報交換会	【実績】 - 新たに「若手社員キャリアデザイン塾」を開催(全3回) 「大学等と企業との就職情報交換会」を開催。56大学出展 - 新卒採用支援セミナー、人事と学生の交流会等を9回(大阪府や近経局の主催事業の共催を含む)開催
2024年度	「キャリアデザイン塾」に加え、若手社員自らが活動テーマを決め共創する「ツナガル若手共創プロジェクト」を実施 「大学等と企業との就職情報交換会」を開催。 「採用担当者のための情報交換会」、「新卒採用支援セミナー」等を開催	【実績】 「若手社員キャリアデザイン塾」(全3回、52人 満足度99%)を開催 - 新たに「ツナガル若手共創プロジェクト」(全4回、19人 満足度100%(3回まで))を開催。5チームを編成し「企業ブランド向上」「従業員エンゲージメント向上」「育成・表彰制度」等の企画を検討。人材育成委員会(2/21)で企画を発表 「大学等と企業との就職情報交換会」(出展大学58校 満足度89%、参加企業263社・425人 満足度96%) 「新卒採用支援セミナー」(65人)、採用担当者のための情報交換会(全3回、延べ95人) 【気付き・課題】 - 企業の規模、業種を超えた交流(ツナガリ)が若手人材の活躍・育成に効果的 - 人手不足が深刻化するなか、「大学等と企業との就職情報交換会」、採用担当者のための情報交換会など、採用関連事業への関心は高く、参加者が多い
2025年度	「キャリアデザイン塾」、「ツナガル若手共創プロジェクト」を実施 「大学等と企業との就職情報交換会」を開催 「採用担当者のための情報交換会」、「新卒採用支援セミナー」等を開催	【内容】 - 若手社員に自身のキャリアをデザインする機会の提供と若手社員同士のネットワーク構築を支援する「若手社員キャリアデザイン塾」の実施 - 自らが事業を考え、形にする経験により若手社員のモチベーション維持・向上と若手社員同士のネットワーク構築を支援する「ツナガル若手共創プロジェクト」の実施 「大学等と企業との就職情報交換会」の実施(10月) 「採用担当者のための情報交換会」の実施、「新卒採用支援セミナー」の実施 【スケジュール】 - 通年
評価指標		2024
参加者数		1,711 人

6. 人的資本強化パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③④ 中小企業の人材育成支援

人材育成

目的 研修・検定試験の実施による中小企業人材の育成、能力向上 / 企業家精神の高揚・伝承

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・階層・分野別研修の実施 ・優良商工従業員表彰の実施 ・メンタルヘルス・マネジメント、ビジネス会計など16種類の検定、受験対策WEB講座を実施、大阪企業家ミュージアムにおける万博をテーマとした特別展示 ・「五代友厚関係文書」Web公開拡充	【実績】 ・年間136件の公開講座を実施。チェンバーカレッジ11回開催。優良商工従業員表彰は208人を表彰 ・各種検定は109,955人が申込 ・大阪企業家ミュージアムでは常設展示のほか、万博関連を含む特別展示を3回実施
2024年度	・階層・分野別研修の実施 ・優良商工従業員表彰の実施 ・メンタルヘルス・マネジメント、ビジネス会計など16種類の検定、受験対策WEB講座の実施、大阪企業家ミュージアムにおける万博をテーマとした特別展示 ・「五代友厚関係文書」Web公開拡充	【実績】 ・年間140件の公開講座(満足度98%)、53件の講師派遣型研修を実施。チェンバーカレッジ11回開催(満足度92% 9回まで)。優良商工従業員表彰は209人を表彰 ・各種検定は70,938人が申込 ・常設展示のほか、万博関連を含む特別展示を3回実施 【気付き・課題】 ・会場での集合研修は、グループワークなど多彩なプログラムが可能で受講者同士の交流に繋がり、満足度が高い ・来館者増加に向け、大学生等に関心が高い企業家(若手、女性、メディア露出が多い等)を取り上げることが有効
2025年度	・階層・分野別研修の実施 ・優良商工従業員表彰の実施 ・メンタルヘルス・マネジメント、ビジネス会計など16種類の検定、受験対策WEB講座の実施 ・大阪企業家ミュージアムにおける常設・特別展示の他、新たに、老舗企業の特徴や経営理念などを紹介する特設コーナーを設置、若い世代が関心を寄せる企業・経営者をセミナー等で取り上げる	【内容】 ・公開講座(年間142件予定)、講師派遣型研修、「チェンバーカレッジ」10回程度、優良商工従業員表彰を実施 ・<u>経営者対象の公開講座を2講座増加</u> ・公開試験・団体特別試験の施行をはじめ関連サービス事業を実施 ・<u>大阪企業家ミュージアムでは、老舗企業の伝統や特徴、経営理念、創業者の志などを展示・紹介</u> 【スケジュール】 ・通年 ・大阪企業家ミュージアム：老舗企業特設展示：年度内3クール程度で入替 ・大阪企業家ミュージアム：若い世代の関心がある展示企業・経営者を取り上げたセミナー等：10月頃

評価指標	2023	2024
各種研修事業 参加者数	6,295人	4,849人
優良商工従業員表彰 表彰者数	208人	209人

評価指標	2023	2024
各種検定 申込者数	109,954人	70,938人
大阪企業家ミュージアム 入館者数・利用者数	15,104人	13,887人

7. 商流創造・グローバル展開パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③⑤ 商談会の開催

繊維

流通活性化

目的 中小企業の販路開拓、ビジネスの拡大

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「大阪勧業展」「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」「大阪クリエイティブフェア」「ザ・ベストバイヤーズ」の実施 - 企業PR動画の制作支援	【実績】 「大阪勧業展」「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」のほか「ザ・ベストバイヤーズ」を9回開催 - QRコードによる来場者管理と売り手の関心事項のデータ化を実施
2024年度	「大阪勧業展」「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」「大阪クリエイティブフェア」「ザ・ベストバイヤーズ」の実施 - 新たに、大阪みやげを主な対象とした「大阪ええもんみつけ商談会」を、複数回シリーズで開催 - 売り手と買い手の参加企業情報や関心事項等の各種データを活用した商談精度の向上	【実績】 「ザ・ベストバイヤーズ」商談会を8回開催 「おおさかええもんみつけ商談会」を3回開催 「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」「大阪勧業展」「大阪クリエイティブフェア」を実施 【気付き・課題】 - 商談会への参加者数が多く、「販路開拓」は引き続き企業の関心が高い - 食品の販路拡大には、商品管理や食品表示で信頼が得られる「食品商社」との関係構築が不可欠
2025年度	「大阪勧業展」「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」「大阪クリエイティブフェア」「ザ・ベストバイヤーズ」の実施	【内容】 「ザ・ベストバイヤーズ」「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」「大阪勧業展」「大阪クリエイティブフェア」を継続開催 - 新たに、食品をスーパーや百貨店に売り込む際に取引を求められる「食品専門商社」をバイヤーに迎えた商談会を開催 - ビジュアルの訴求が強く、実際の購買に大きな影響を与えるインスタグラムの活用セミナーと相談会を3回シリーズで開催 【スケジュール】 7～9月：「ザ・ベストバイヤーズ」 11月：「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」「大阪クリエイティブフェア」 12月：「大阪勧業展」



買いまっせ！売れ筋商品発掘市

評価指標

2023

2024

商談数

7,408件

8,021件

成約(見込)数

1,667件

1,754件

7. 商流創造・グローバル展開パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③⑥ ザ・ビジネスモールを活用した商談機会の創出

企業成長支援

目的 会員企業の広域取引、販路拡大、中小企業の商談機会の拡充

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	・商取引支援サイト「ザ・ビジネスモール」運営・取引支援	【実績】 「ザ・ビジネスモール」を、全国の商工会議所・商工会等560団体と共同運営 2025年大阪・関西万博や、令和6年能登半島地震に関連する商取引を支援する特設ページを立ち上げ運営 - 利用者向けのオンラインセミナーを実施
2024年度	・「ザ・ビジネスモール」のさらなる登録、活用促進	【実績】 - ビジネスモールの登録数は567商工会議所・商工会の会員28万8千社。商談件数は毎日約100件掲載 - 各地会議所・商工会が主催する商談会への出展情報を「ザ・ビジネスモール」に集約し、全国に発信するポータルページ「BMイベント」開設(739件掲載) 【気付き・課題】 - 全国各地の商工会議所との連携はかなり進んだので、今後はより小規模な事業者が多い商工会との連携に注力
2025年度	・「ザ・ビジネスモール」のさらなる登録、活用促進	【内容】 - 登録企業数、商談活用の更なる増加を働きかけ - 全国の商工会の参加拡大をよびかけ 【スケジュール】 - 通年

評価指標	2023	2024
商談件数	2,382件	1,802件

7. 商流創造・グローバル展開パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③7 万博関連受発注支援サイトの運営

企業成長支援

目的 2025大阪・関西万博への中小企業を含む幅広い企業参画の促進

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「万博関連受発注支援サイト」開設、運営・取引支援	【実績】 - 新たな取り組みとして、「万博商談もずやんモール」を設置。大阪府等と連携し、万博関連の発注案件の掲載、ユーザー登録を促進 - ビジネスモール内に設置した「BM万博商談」と連携
2024年度	「万博商談もずやんモール」の運営 - 発注案件や売り手企業の登録等を促し、サイトを活性化	【実績】 - 登録企業数1,854件、成約13件 【気付き・課題】 - 万博協会との情報交換を更に密にして海外パビリオンからの発注ニーズの情報収集を行う必要がある
2025年度	「万博商談もずやんモール」の運営 - 発注案件や売り手企業の登録等の促進、サイトの活性化	

【内容】

- 万博関係の受発注支援WEBサイトの運営
 - 万博会期中における各国パビリオンの発注ニーズの情報収集および受注候補企業への積極的取次ぎ
- 【スケジュール】
- 通年

評価指標	2023	2024
受注希望者登録数	1,611件	1,827件

7. 商流創造・グローバル展開パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③8 日本アセアンビジネス促進プラットフォーム

貿易

国際ビジネス

目的 中小企業のアセアン地域等への海外展開支援

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	「日本アセアンビジネス促進プラットフォーム(AJB)」設置 - アセアン企業とのビジネスマッチング支援 - セミナーやオンライン視察による、現地ビジネス環境の情報提供	【実績】 - 大阪、シンガポール、タイ、ベトナムの4商工会議所でプラットフォームを設立。インドネシア、フィリピン、マレーシアが参画。国内では、12会議所が参加するネットワークを設置 - セミナーや商談会等を29回実施
2024年度	- ニーズが高い「販路開拓」「グリーン」「イノベーション」を中心テーマに、セミナーや商談会、現地視察等を実施 - 上記3つの柱に加え、「外国人材」の活用に関する事業展開も開始 - 国内ネットワークを活用し、互恵的な事業を実施 - 拡大した7ヵ国に係る双方向・多国間連携事業を実施	【実績】 「イノベーション」：タイのスタートアップ6社が参加するビジネスマッチング会(GIFミートアップ・タイ編)をバンコクで開催し、17人が参加。またタイ・バンコクで行われるアセアン最大級のスタートアップイベント「SITE 2024」への在阪企業2社の出展を支援 「販路開拓」：マレーシア B to C市場開拓シリーズ(現地情報セミナー、オンライン視察、相談会、現地でのテスト販売)を開催。のべ200人参加 「グリーン」：フィリピン・グリーンミッションを派遣。7社・機関13人が参加 「人材」：アジアの外国人材に焦点を当てたフォーラムを開催し、約200人が参加 【気付き・課題】 - 人手不足が喫緊の課題であるなか、外国人材をテーマにしたフォーラムは予想を超える参加があった。外国人材の活躍につながる、さらなる支援事業が求められている
2025年度	- 日本アセアンビジネス促進プラットフォームで連携するアセアン主要6か国の商工会議所会頭等を招き、日アセアンビジネス連携の強化に資する事業や各国のCCI企業ミッション団等との交流会を実施。 - 重要性が増している「人材」活用・交流に焦点を当てた事業を展開	【内容】 - AJB EXPO2025の開催：万博にあわせ、4月に、プラットフォームに加盟する大阪とアセアン6か国の商工会議所会頭が参加する「代表者会議」や「EXPO視察会」、日本とアセアン民間企業の今後の協業・共創を議論する「シンポジウム」を開催。万博期間中を通し、アセアン各国商工会議所の会員企業との商談会等も開催予定 - 外国人材交流事業：外国人材活用(高度人材など)や、アセアンと日本の経営者同士の交流会を開催 【スケジュール】 4月：AJB EXPO2025 10月～：外国人材交流事業

評価指標

2023

2024

「日本アセアンビジネス促進プラットフォーム」
登録企業数

1,419社

1,962社

41

7. 商流創造・グローバル展開パッケージ

※評価指標の数値は2024年12月末時点

③ グローバル化支援

貿易

国際ビジネス

中国ビジネス

目的 中小企業の海外展開支援・輸出振興、外国企業の大阪進出・投資誘致による経済活性化

主な取り組み

進捗・計画

2023年度	- セミナーでの海外最新情報の提供、海外バイヤー等との商談会 - 各種貿易証明書の発給 - RCEP等EPA特定原産地証明書の書類作成支援 - 外国企業への大阪進出に関する情報提供、立地支援	【実績】 - 海外販路開拓、海外投資等をテーマにセミナーや商談会を77回実施。タイ、中国、インドに視察団派遣のほか、インドネシア・オンライン視察開催 - 在日外国公館等を対象とした大阪PRイベントを3回開催。新たに大阪紹介オンライン視察会を開催
2024年度	- 万博を活かし、大阪プロモーション等を実施 - 貿易促進のため海外各国とのセミナーや商談会を開催 - 貿易証明の発給、貿易実務セミナーや相談事業を実施	【実績】 「グローバル・バイヤーズ」：海外販路開拓事業としてマレーシア、韓国、アセアン等を対象に実施 「中国ビジネスプラットフォーム」：遼寧省へ視察団(19人)を派遣 「大阪プロモーション」：英国やドイツにおけるトッププロモーションのほか、G7諸国の在日商工会議所とのラウンドテーブル、在日外国公館を対象としたオンラインセミナー等を通じて大阪の魅力を発信 「関西国際インターナショナル交流事業」：在関西外国公館向けに大阪の中小企業をPRする視察会を開催 3月に「欧州バイヤー商談会」(日本食品・飲料を対象とした商談会)をオンラインで実施予定 【気付き・課題】 - 万博を契機とした来阪者は相当数が見込まれ、大きなビジネスチャンスとなる。 - 在阪企業が個別にアプローチするのが難しい新興国等の海外企業との商談機会は貴重
2025年度	- 国内外から大阪に人が集まる万博の機を捉えて、大阪企業への情報提供・マッチング、また来訪者への大阪プロモーション等を実施する。 - 万博後には、海外プロモーションや各種ビジネスイベントを実施する。 - 貿易証明の発給、貿易実務セミナーや相談事業を実施	【内容】 「グローバル・バイヤーズ」：万博期間中に来阪する海外企業との販路開拓事業の実施 「中国ビジネスプラットフォーム」：各種情報提供・商談会の開催など。 「グローバルサウス等新興国ビジネス研究会」：新興国との貿易や投資に関心を持つ企業を対象とした研究会を実施(人材含む) 「大阪プロモーション」：万博期間中に来阪される団体・機関の受け入れ時におけるプロモーション実施 【スケジュール】 - 随時：「グローバル・バイヤーズ」(日本企業の海外市場開拓・輸出入取引支援事業) 4月～10月：表敬、セミナー、交流会等に随時対応 10月～3月：海外でのプロモーションや各国・地域を対象とした各種ビジネスイベント

評価指標

2023

2024

グローバル・バイヤーズ 参加企業数

161社

99社

貿易証明書発給件数

一般貿易証明

75,776件

68,320件

EPA特定原産地証明

324,526件

347,526件

評価指標

2023

2024

国際ビジネス相談件数
(EPA活用、中国ビジネス、アセアンビジネス)

890件

913件

誘致企業件数

34件

13件

Ⅲ. インフラ整備、提言・要望

インフラ整備

※評価指標の数値は2024年12月末時点

④0 都市インフラの整備促進

建設・建材

運輸

都市活性化

国際ビジネス

目的

大阪・関西の経済発展に必要な鉄道・道路・港湾・空港等の都市インフラや、
夢洲・新大阪駅周辺地域等の新都心拠点の整備促進

主な取り組み

進捗・計画

2023
年度

- ・「北陸・関西連携会議」「北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会」等開催
- ・新幹線、空港、高速道路等の拡充に関する要望活動

【実績】

- ・北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会や北陸・関西連携会議会頭会合で早期大阪延伸を求める決議を採択
- ・三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会にて、早期全線開業の実現等を決議
- ・淀川左岸線2期等の早期整備に向けた予算確保を要望
- ・第13回関西3空港懇談会で関西国際空港の発着容量拡大に向けた新たな飛行ルートが国から提示
- ・新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会会議の下に設置された関連部会で、民間開発促進のための機運醸成等を議論

2024
年度

- ・北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会や北陸・関西連携会議等を通じ、引き続き早期延伸に向けた要望等を行う
- ・引き続き、早期全線開業に向けた要望・機運醸成を行う
- ・万博会場へのアクセスルート利用に向け、引き続き、淀川左岸線2期の整備等を要望する
- ・引き続き関西国際空港の発着容量拡大に向けて取り組む
- ・新大阪駅周辺のまちづくり等に継続して参画

【実績】

- ・北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会、北陸新幹線整備促進シンポジウム、第12回北陸・関西連携会議会頭会合(富山)等を開催し、最後の未着工区間である敦賀・大阪間の早期着工・開業に向け、要望、機運醸成を実施
- ・関西3空港懇談会で関西国際空港の容量拡張(年間30万回)と神戸空港のさらなる活用を図るための新飛行経路の導入を合意
- ・関西高速道路のミッシングリンク解消に向けた要望、三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会、新大阪駅周辺地域まちづくり検討部会等に参画

【気付き・課題】

- ・北陸新幹線の敦賀・大阪間の早期着工の実現には関西での機運醸成が極めて重要

2025
年度

- ・北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会や北陸・関西連携会議等を通じ、敦賀・新大阪間の早期着工に向けた要望等を行う
- ・リニア中央新幹線早期全線開業に向けた要望・機運醸成を引き続き行う
- ・関西の高速道路網整備を引き続き要望する
- ・関西国際空港の成長に向けて取り組む
- ・新大阪駅周辺のまちづくり等に継続して参画

【内容】

- ・北陸新幹線、リニア中央新幹線、高速道路ネットワークの早期整備のための要望活動
- ・とりわけ、北陸新幹線の早期着工実現を後押しする機運醸成の取り組みを強化
- ・新大阪駅周辺のまちづくり検討等に継続して参画

【スケジュール】

- ・夏頃：北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会
- ・夏～秋：高速道路要望
- ・秋～冬頃：第13回北陸・関西連携会議(京都)、三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会

④1 国・自治体への政策提言・要望活動の実施

企業成長支援

目的 大阪・関西の成長に不可欠な国・自治体等の政策実現

主な取り組み		進捗・計画
2023年度	- 中堅・中小・小規模企業対策に関する要望 - 税制改正に関する要望 - 大阪府・大阪市の予算等への要望 - 政府要人等との懇談実施 - 要望実現状況の把握	【実績】 「2024年度中堅・中小・小規模企業対策要望」、「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)関連事業に関する要望」を建議。「京阪神三商工会議所 2023年度ライフサイエンス産業振興にかかる要望」を建議 「2024年度税制改正に関する要望」「大阪府・大阪市の2024年度予算等への要望」を建議 - 円安、能登地震の影響に関する調査を実施
2024年度	- 中堅・中小・小規模企業対策に関する要望 - 税制改正に関する要望 - 大阪府・大阪市の予算等への要望 - 政府要人等との懇談実施	【実績】 「経営・経済動向調査」「業種別企業動向ヒアリング」等の定例調査(四半期毎)のほか、為替・金利、人手不足、価格転嫁等、中小企業の経営課題をタイムリーに調査 「中堅・中小・小規模企業対策に関する要望」「税制改正に関する要望」「大阪府・大阪市の2025年度予算・税制等への要望」「新内閣への要望」を建議 - 岸田内閣総理大臣はじめ、植田和男日本銀行総裁や財務省、経産省等政府要人との懇談会を開催 【気付き・課題】 - 調査のデジタル化(メール送付、回答のweb入力)、調査対象企業の拡充等、実施方法を改善。BSI調査の回答企業数が約1.5倍に増加 - 府内商工会議所との連携調査を試行。6会議所と共同調査を実施
2025年度	- 会員企業対象の経営・経済動向調査や小規模企業対象の景況調査等を随時実施 - 国・地元自治体等に対し、中小企業対策、税制改正、産業振興等、幅広いテーマで、機動的に政策提言・要望活動を実施	【内容】 - 四半期ごとに経営・経済動向調査や業種別企業動向ヒアリング調査を実施し、地元企業の経営実態を把握。府内商工会議所との連携調査を拡充 - 中小企業政策や税制に関する要望・政策提言、定例会見メモや各種挨拶文等に反映 - また個別の政策課題に関する調査や、地元自治体への要望等を機動的に行うとともに、政府要人等との懇談を通じて、要望の実現を働きかけ 【スケジュール】 6月：「中堅・中小・小規模企業対策に関する要望」 9月：「税制改正に関する要望」「大阪府・大阪市の2026年度予算・税制等への要望」 - 秋頃 日銀総裁との懇談等

IV. 「挑戦都市 やってみなはれ！ 大阪プラン」の 検証・総括・継承

「挑戦都市 やってみなはれ！ 大阪プラン」の検証・総括・継承

○大阪の国際競争力強化と持続的成長をめざし、2023年度から3カ年にわたって取り組んでいる本会議所の中期計画「挑戦都市 やってみなはれ！ 大阪プラン」のこれまでの成果を検証・総括し、万博後の大阪の将来像を見据え、その継承を検討する。

4～6月	7月	8～10月	11～2月	3月
各委員会での検討 ※必要に応じて 有識者との 意見交換 事務局部署別 意見交換 事務局部署横断 検討ワークショップ 各事業の 検証・総括 次期中期計画の方向性や 盛り込むべき事業を検討	企画広報委員会 正副会頭会議 常議員会 検証・総括の報告 次期中期計画の策定方針 を審議	各委員会での検討 有識者との 意見交換 事務局部署別 意見交換 事務局部署横断 検討ワークショップ 次期中期計画に盛り込む べき事業を具体化	各委員会 での検討 正副会頭会議 次期中期計画の方向性 をふまえ、それを具体 化する次年度事業計画 の検討	企画広報委員会 正副会頭会議 常議員会 定例記者会見 通常議員総会 次期中期計画の審議・ 定例会見で発表 次年度事業計画の審議、 総会後発表

V. 組織基盤の強化・支部の活動

組織基盤の強化

効果的な広報・PR活動

- 会員と本会議所をつなぐ機関紙「大商ニュース」やホームページ、本会議所事業を紹介した「大商便利帖」、大商メルステーション、フェイスブック等のSNSの活用により、本会議所事業の広報・PRを精力的に行う。
- ソーシャルメディア/SNSを活用し、これまで接点がなかった層への発信を図るとともに、大商の伴走支援による中小企業の販路開拓や新分野進出の成功事例をわかりやすく紹介し、会員企業の経営改善を支援する。
- 「挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン」を推進するシンポジウムを新聞社と数回共催するとともに、本会議所の活動が一層マスメディアに取り上げられるよう、報道関係者への「提案型」広報に注力する。

3万会員維持・会員満足度向上

- 安定的な3万会員を維持するために、新規会員勧誘活動と会員継続促進活動を展開する。
- 本会議所が実施する会員に役立つ事業を紹介して、加入を促すとともに、会員の事業・サービス利用の増加を目的とした会員満足度向上活動、会員ニーズに即した事業紹介・広報等に取り組む。
- こうした活動を通じて本会議所のファンを拡大し、事業の価値の共有と会員満足度の向上を図る。

支部の活動

- 経営指導員が巡回訪問し、金融、事業承継、IT化、販路開拓等、伴走型経営支援を行う。
- 小規模事業者経営改善資金融資(マル経融資)等、金融に関する説明会・個別相談会を開催する。
- 各地域のニーズ・特性に応じた地域活性化事業・小規模事業者支援事業等を実施する。
 - 北支部：経営力向上支援事業、商店街集客支援事業、親族内承継支援事業
 - 東支部：中小企業の生産性向上支援、東部商店街にぎわい創出事業
 - 中央支部：BCP策定支援事業、ミナミ活性化事業
 - 西支部：西部エリア「え〜もん市」、ものづくり加工ネットワーク強化交流会
 - 南支部：あべの天王寺・サマーキャンパス、ものづくり加工ネットワーク強化交流会、経営力向上支援事業



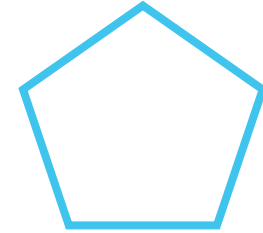
中期計画における評価指標

中期計画で設定したプロジェクト・パッケージの各事業の評価指標をもとに、進捗状況を把握しながらPDCAサイクルを回す

全体指標

5つの視点(五角形)で、初年度を100として増減率をみる

- | | | |
|------------|---|-----------------|
| ①組織評価 | ▶ | 会員数 |
| ②事業評価 | ▶ | のべ事業利用数 |
| ③成長支援評価 | ▶ | プラットフォーム参加数 |
| ④事業インパクト評価 | ▶ | メディア掲載件数(web含む) |
| ⑤情報伝達評価 | ▶ | ホームページビュー総数 |



プロジェクト・パッケージ評価指標

プロジェクト・パッケージの事業ごとに、参加数、事業化支援件数、商談数、相談件数等の評価指標を設定し、各指標が対前年度比増加したかをみる
あわせて事業利用会員企業の声もふまえ、プロジェクト・パッケージの評価を行う

参考指標

計画全体、各プロジェクトの参考指標として分野別統計指標を設定し、経年変化をみる
例：景気動向指数、GDP成長率(国との比較)、分野別統計指標、該当事業所数(国との比較、全国シェア)

部会・女性会、専門委員会 主要活動一覽

部会・女性会 主要活動一覧(会員数は2025年3月21日現在)

部会 【 】は担当部署	所属業種	会員数	主たる活動・具体的な事業
マテリアル 部 会 【産業部】	金属鉱業、金属製品・ 材料製造・加工・卸売 業 等	1,596	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会等の開催) ・講演会テーマ：DX推進による生産性向上や、マテリアル分野の最新動向等 ○新入社員向け研修見学会、部会員向け視察会 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進
機 械 部 会 【産業部】	機械器具・同部品製 造・卸売・修理・賃貸 業 等	2,253	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・視察会等の開催) ・講演会テーマ：DXによる生産性向上や人手不足への対応、サプライチェーン強化に関する最新動向等 ・視察先：DXや独自の高い技術力により生産現場の革新や競争力の向上に取り組む企業の工場等 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進
化学・エネルギー 部 会 【産業部】	化学製品製造・卸売業、 医薬品製造業、燃料製 造業、電気業、ガス業、 熱供給業、水道業 等	1,760	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会等の開催) ・講演会テーマ例：環境・エネルギー関連政策の動向、化学・エネルギーに関連する技術開発動向、多様な企業の環境に関する取り組み、環境重視の経営戦略等 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進
織 維 部 会 【流通・サービス産業部】	繊維・衣服等繊維製 品・身の回り品製造・ 加工・卸売業 等	1,060	○大阪ヘルスケアバビリオン出展支援 ○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会の開催) ・講演会テーマ例：最新のファッショントレンド、業界動向等 ○繊維ファッション産業振興事業の実施 ・大阪ファッション産業振興フォーラムの実施 - 先進企業の事例紹介、新技術のプレゼンテーション、交流会の開催 ○素材調達商談会の開催
建設・建材 部 会 【地域振興部】	林業、土木建築工事業、 建築業、木材・木製品 製造業、建物サービス 業、設備工事業 等	3,971	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会等の開催) ・講演会テーマ例：建設業界の人材育成、持続可能な建設業に向けた環境整備等 ○部会内及び他部会との連携による相互交流促進
貿 易 部 会 【国際部】	各種商品輸出入業 等	1,252	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会等の開催) ・講演会テーマ例：国際経済情勢、通商施策やFTA等 ○貿易・国際ビジネス実務支援(人材育成・ビジネス機会創出含む) ・貿易実務・国際ビジネス実務セミナー等の開催 ・貿易関連施設視察(オンライン含む) ・展示会出展支援、商談会や交流会の実施 ○そのほかの貿易関連支援事業 ・貿易関連証明書の発給 ・EPAを利用した海外販路開拓支援 ○他部会・委員会との連携による相互交流促進

部会・女性会 主要活動一覧(会員数は2025年3月21日現在)

部会 【 】は担当部署	所属業種	会員数	主たる活動・具体的な事業
小売部会 【流通・サービス産業部】	各種商品小売業 等	1,787	○部会員の経営に役立つ情報の提供 ・小売業の動向・流通先進事例を紹介する講演会・見学会の開催 ・個店や商店街等の経営改善に役立つ講演会等の開催
生活用品部会 【地域振興部】	皮革製品・家具・文具・楽器・装飾品・貴金属・履物・玩具・陶磁器・建具・家庭用品製造・卸売業 等	1,158	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会等の開催) ・講演会テーマ例：広報・マーケティング事例、消費者動向、市場動向、経営論、経営戦略等 ○部会内及び他部会との連携による相互交流促進
紙・印刷部会 【総務企画部】	パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷業、製版業、製本業、印刷に伴うサービス業 等	917	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会等の開催) ・見学先：先端的な取り組みを行う企業施設やプロジェクト関連施設、各種産業関連施設・工場等 ○他部会との連携による相互交流促進
食料部会 【地域振興部】	農業、漁業、食料品・飲料製造・卸売業、飲食店 等	2,117	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会の開催) ・講演会テーマ例：食業界におけるトレンドや人材確保・育成の取り組み、食関連企業の経営戦略、食のSDGsなど ・見学会テーマ例：先進的な取り組みを行う食品工場・飲食店等 ○他部会との連携による相互交流促進
金融部会 【総務企画部】	銀行・信託業、投資業、証券業、保険業、保険媒介代理業、保険サービス業、商品取引業、その他金融業 等	532	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会の開催) ・講演会テーマ例：最近の経済情勢、企業を取り巻く金融環境等 ○他部会との連携による相互交流促進
運輸部会 【地域振興部】	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、倉庫業、運輸に付帯するサービス業 等	993	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会の開催) ・講演会テーマ例：空港、港湾、鉄道、高速道路等の交通・インフラをめぐる問題、関西における交通・観光政策等 ○他部会との連携による相互交流促進
サービス産業部会 【流通・サービス産業部】	不動産業、物品賃貸業、旅館、駐車場、人材派遣業、デザイン業、警備業、教育施設、廃棄物処理業、経営コンサルタント、その他サービス業 等	7,292	○部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会・見学会の開催) ・講演会テーマ例：景気動向、新ビジネスや新サービス、DX、都市開発、サービス業の動向・先進事例のほか、各種経営課題等 ○分科会(不動産分科会、経営理念分科会、人材育成分科会)による活動

部会・女性会 主要活動一覧(会員数は2025年3月21日現在)

部会
【 】は担当部署

所属業種

会員数

主たる活動・具体的な事業

情報・通信
部 会
【産業部】

新聞業、出版業、通信業、放送業、情報サービス・調査業、広告業 等

2,060

- 部会員の経営に役立つ情報の提供(講演会の開催・視察団の派遣)
 - ・講演会テーマ：業界動向や国内外の先進事例等
 - ・視察先：ビジネスの参考となる情報・通信分野の先進地域
- デジタル技術等の次世代技術を活用した、既存産業の高度化や新規ビジネスの開発支援(デジタル変革推進委員会との共管)
 - ・次世代テックフォーラムの運営
 - ・メタバースビジネス創出プラットフォームの運営
- 他部会・委員会・団体との連携による相互交流促進

女 性 会
【総務企画部】

女性経営者・幹部

249

- 女性経営者・幹部の資質向上
 - ・講演会・セミナー、経営事例発表会等の開催
 - ・委員会を通じた活動推進・相互研鑽、機関誌「女性会NOW」の発行
- 女性経営者同士の交流・ネットワーク拡大
 - ・全国商工会議所女性会連合会、関西商工会議所女性会連合会、大阪府商工会議所女性会連合会の総会・講演会・研修会への参加や国内外の女性経営者・幹部との交流・懇談会の開催
- 女性起業家育成の支援
 - ・女性起業家大賞の推薦・表彰

専門委員会 主要活動一覧

委員会
【 】は担当部署

主たる活動・具体的な事業

経済政策・法規
委員会
【総務企画部】

- 企業の経営環境の改善や、大阪・関西の活力増進、わが国経済の力強い成長の実現に向け、政府・日本銀行・地方自治体等の経済財政政策、金融政策、産業振興施策や、企業法制の整備等に関する意見、要望の建議
- 政策提言活動の精力的実施
 - ・調査や委員会、幹事会での議論を通じた会員企業の経営課題や政策ニーズの把握・意見取りまとめ
 - ・政府関係機関や与党、地方自治体等との対話活動の強化、日本銀行総裁との懇談会の開催
- 「経営・経済動向調査」、「中小企業の資金調達に関する調査」等の実施
- 法律懇話会、企業法実務基礎講座の開催
- 最新情報の提供
 - ・法改正や制度変更に応じたセミナー・説明会等の開催

税制
委員会
【総務企画部】

- 中小企業をはじめ企業の成長力強化・経営基盤強化、地域経済の活性化を図る税体系の構築に向けた要望の建議(「次年度税制改正に関する要望」等)
- ・調査や委員会、幹事会での議論等を通じたニーズの把握・意見のとりまとめ、与党や政府関係機関への要望活動の実施等

中堅・中小企業
委員会
【総務企画部】

- 中堅・中小・小規模企業の成長力強化・経営課題への対応・経営基盤強化に向けた意見、要望の建議(「中堅・中小・小規模企業対策に関する要望」等)
- 調査の実施
 - ・政策ニーズや経営課題を把握するため、会員企業等を対象にアンケート調査等を実施
- 政策提言活動の実施
 - ・調査や業種(部会)・支部代表との意見交換会、委員会での議論を通じた会員企業の経営課題や政策ニーズの把握・意見のとりまとめ、与党・政府関係機関への要望活動の実施等
- 最新情報の提供
 - ・中小企業政策等に関するセミナー・説明会等の開催

専門委員会 主要活動一覧

委員会 【 】は担当部署	主たる活動・具体的な事業
産業技術振興・ スタートアップ 連携委員会 【産業部】	○ものづくり×イノベーションプロジェクト ・地域間の連携によるスタートアップの商圈の拡大や、新たな技術・ソリューションを有するスタートアップと既存企業の連携によるイノベーションの創出、ビジネスの拡大を支援する「スタートアップ支援事業」の推進 ・中小企業等のSDGs/ESGに係る取り組みに資する事業を展開し、グリーンイノベーションの実現を目指す「SDGs/ESGプラットフォーム」の運営(※国際ビジネス委員会との共管) ・技術探索を支援するオープンイノベーション支援事業を通じた新技術・製品開発、新ビジネスの創出を行う「MoTTTo OSAKA オープンイノベーションフォーラム」の運営 ○まちなかりビングラボプロジェクト ・企業や住民等の参画による新たな価値やビジネスの創出をめざす「リビングラボ」の推進(※デジタル変革推進委員会との共管) ・都心型オープンイノベーション拠点「Xport」の運営支援(※デジタル変革推進委員会との共管) ○国・自治体等への政策提言・要望活動の実施
デジタル変革 推進委員会 【産業部】	○ものづくり×イノベーションプロジェクト ・デジタル技術等の次世代技術を活用した、既存産業の高度化や新規ビジネスの創出を支援する「次世代テックフォーラム」の運営(※情報・通信部会との共管) ・企業の規模や業種に関わらず、メタバースを活用したビジネスの創出を支援する「メタバースビジネス創出プラットフォーム」の運営(※情報・通信部会との共管) ・2025年大阪・関西万博での大阪ヘルスケアパビリオンへ出展する中小企業・スタートアップ企業の支援事業「Series A；セレクション」の実施 ○まちなかりビングラボプロジェクト ・企業や住民等の参加による新たな価値やビジネスの創出をめざす「リビングラボの推進」(※産業技術振興・スタートアップ連携委員会との共管) ・都心型オープンイノベーション拠点「Xport」の運営支援(※産業技術振興・スタートアップ連携委員会との共管) ・次世代都市の空間情報プラットフォームを備えたオープンな実証フィールド「コモングラウンド・リビングラボ」の運営支援 ・新ビジネスを創出するため、大阪のまちなかをフィールドとした「実証事業の推進」 ○中堅・中小企業等のDX支援 ・中堅・小企業等のDX推進の支援策を取りまとめ、大阪・関西の経済団体、関係団体等が一体となったDX支援を展開 ○国・自治体等への政策提言・要望活動等の実施 ・国・自治体に対するデジタル変革に関する分野の政策提言・要望活動の実施

専門委員会 主要活動一覧

委員会
【 】は担当部署

主たる活動・具体的な事業

ライフサイエンス
振興委員会
【産業部】

- 医療機器開発等の振興
 - ・医療機器等開発支援プラットフォーム「次世代医療システム産業化フォーラム(MDF)」の実施
 - ・医工連携マッチングや事業化コンサルティング、医療機器等ユーザー評価、販路開拓支援等の実施
 - ・MDF分科会の運営(デジタル医療、看護・在宅医療、介護・福祉、再生医療等)
 - ・国立病院機構大阪医療センターや国立循環器病研究センター、医薬基盤・健康・栄養研究所、公立大学法人大阪、未来医療推進機構、大阪けいさつ病院等との連携事業の実施
 - ・「未来の医療」(優しい病院、環境配慮の医療など)実現に向けた事業の実施
 - ・メドテック・ヘルステック分野におけるグローバルエコシステムの構築(メドテックアクチュエーターとの連携)
 - ・途上国市場開拓事業の実施(JICA関西との連携)
- 創薬分野の振興
 - ・創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワーク(DSANJ)の運営
 - ・DSANJ Bio Conferenceの実施
- ウエルネスビジネスの創出(スポーツ産業振興委員会との共管)
 - ・ウエルネス・オフィスプロジェクトの実施
 - ・大阪スマートヘルスプロジェクトの実施
- うめきた2期、大阪城東部地域、中之島等、都市開発プロジェクトとの連携事業の実施

スポーツ産業
振興委員会
【産業部】

- スポーツ関連産業の振興
 - ・スポーツ分野における新たなビジネス創出を促進するプラットフォーム「スポーツハブKANSAI」の運営 ・関係企業・団体等との連携による、ビジネスマッチングや実証研究の場の提供 ・スポーツ・ウエルネス拠点の形成に向けた活動
- スポーツイベント等の各種支援
 - ・大阪・関西におけるスポーツ団体の活動への協力
- ウエルネスビジネスの創出(ライフサイエンス振興委員会との共管)
 - ・ウエルネス・オフィスプロジェクトの実施
 - ・大阪スマートヘルスプロジェクトの実施

専門委員会 主要活動一覧

【 委員会 】は担当部署	主たる活動・具体的な事業
都市活性化 委員会 【地域振興部】	○都市魅力の再構築 ・WEBクイズ「なにわなんでも大阪チャレンジ」等の実施を通じた大阪への郷土愛(シビックプライド)の醸成 ・水と光を活かした都市魅力の創造 ・大阪都心部のエリアマネジメントを推進する企業や団体との連携による公共空間の活用促進や万博会期中及び終了後を見据えた魅力発信 ・大阪城東部地区におけるまちづくりの推進、都市景観の魅力発信 ○都市インフラの整備促進 ・道路・港湾・鉄道、空港等の大阪・関西の都市インフラの整備促進(北陸新幹線及びリニア中央新幹線の早期全線開業、関西の高速道路ネットワークの早期完成、関西国際空港の機能強化などに向けた要望等)
グレーター ミナミ 推進委員会 【地域振興部】	○グレーターミナミの活性化 ・グレーターミナミエリアのブランディングの強化 ・グレーターミナミエリア全体の魅力づくりを推進するシンポジウムの開催 ・グレーターミナミエリアを対象とした、インバウンド向けモデルツアーの実施(※ツーリズム振興委員会との共管) ・グレーターミナミエリアにおける活性化プロジェクトの組成に向けた支援 ・「グローバル育成協議会」を通じた大阪市内(グレーターミナミ・シティ)における留学生の就労・起業の支援、グローバル化とイノベーションを促進する仕組みの構築推進 ・ミナミ活性化協議会等を通じた安心安全のまちづくり
ツーリズム 振興委員会 【地域振興部】	○観光の高付加価値化と滞在交流型観光の推進 ・国内外から訪れる観光客の周遊促進、長期滞在、観光消費額の拡大を目指した、大阪の観光魅力の編集と発信 ・グレーターミナミエリアを対象とした、インバウンド向けモデルツアーの実施(※グレーターミナミ推進委員会との共管) ○「食のまち・大阪」のブランド向上 ・豊かな食文化を有し、多様で実力ある飲食店が数多く集積する「食のまち・大阪」の魅力の効果的な編集と発信 ○大阪MICE戦略の推進及びIRに関する対応 ・MICE推進委員会や大阪MICE戦略検討会議、IR推進会議への参画を通じた協力、大阪IRとの連携の検討 ○大阪観光局(DMO)等との連携による観光及び文化振興事業の実施、本会議所の意見表明

専門委員会 主要活動一覧

委員会 【 】は担当部署	主たる活動・具体的な事業
企業成長 支援委員会 【中小企業振興部、 経営情報センター】	○取引促進・販路開拓 ・町工場ネットワーク事業、2025大阪・関西万博出展支援 ・ザ・ビジネスモールによる企業の商取引拡大支援 ・万博関連受発注支援サイトの運営 ○金融支援 ・地元金融機関と連携した金融と経営支援の一体的取り組みの推進 ・「マル経融資」の利用促進 ○事業継続・自己変革支援 ・大阪府事業承継・引継ぎ支援センターならびに大阪府中小企業活性化協議会の運営 ・事業継続力強化支援事業の実施 ・デザイン思考による企業変革力強化支援事業、自社商品開発支援事業、プロダクト・イノベーション創出支援の実施 ・各種共済・保険等の活用促進 ○経営改善・情報提供 ・法律、税務、IT、労務、新事業開発、ものづくり・技術、営業・マーケティング等の専門相談、専門家派遣型経営相談事業の実施 ・中小企業の生産性向上支援事業、ビジネス講演会・法律講演会の実施、給与計算処理サービスの提供 ・IT導入支援、中小企業向けサイバー攻撃対策支援 ・健康経営サポート事業の実施 ○創業支援 ・創業応援セミナー、開業スクール、女性起業支援セミナー、女性のためのスモールビジネス勉強会の開催 ・地域金融支援ネットワークによる創業支援、「開業・スタートアップ応援資金」の普及促進 ・創業に関する各種相談事業の実施
人材育成 委員会 【人材開発部】	○社会人の学び直し支援 ～ リカレント・リスキリング ～ ・大学等と連携した社会人向け講座、経営者のリスキリング研修の実施 ・継続的にレベルアップが求められるITやコミュニケーション等の研修の実施 ○多様な人材の活躍推進 ～ ダイバーシティ、エクイティ＆インクルージョン ～ ・女性、外国人、高齢者、障がい者等多様な人材の活躍推進 （「活躍する女性リーダー表彰(愛称：ブルーローズ表彰)」の実施、女性リーダーのネットワーク構築の促進、「【学校×企業】外国人留学生採用のための情報交換会」の開催、「OSAKA 外国人材受入促進・共生推進協議会」への参画など） ○若手人材の確保・活躍推進 ・若手社員の活躍を促進する「若手社員キャリアデザイン塾」、「ツナガル若手共創プロジェクト」の実施 ・新卒、若手人材の採用を支援する「大学と企業との就職情報交換会」や企業の採用担当者向けセミナー等の開催 ○中小企業の人材育成支援 ・階層・分野別研修の実施、企業への研修講師の派遣、「優良商工従業員表彰」の実施 ・本会議所企画検定試験(メンタルヘルス・マネジメント検定、ビジネス会計検定)の全国での実施とさらなる普及・拡大 ・日商・東商検定試験の実施や各種受験対策講座の開講 ・大阪企業家ミュージアムの主展示(企業家105人)や特別展示、各種講演会の開催と、企業家インタビュービデオ等コンテンツの拡充

専門委員会 主要活動一覧

委員会 【 】は担当部署	主たる活動・具体的な事業
流通活性化 委員会 【流通・サービス産業部】	○商談会の開催によるビジネス拡大 ・売り込み型の大型商談会「買いまっせ！ 売れ筋商品発掘市」の開催 ・個別商談会「ザ・ベストバイヤーズ」「ザ・ライセンスフェア」の開催 ・「大阪勤業展」の開催 ○商店街の集客支援 ・「100円商店街」「開運商店街」「スマートフォンなどICT活用」「レトロビル商店街」「商店街ちょい売り商談会」等の商店街の集客支援事業 ・大阪・関西万博に併せた商店街集客事業 ・ショッピングツーリズム振興事業 ・商店街再生事業実行委員会 ○IT・デジタルを活用した販路拡大 ○大阪クリエイティブフェアの実施(百貨店での販売機会の提供を通じて中小企業の販路開拓、企業成長を支援)
国際ビジネス 委員会 【国際部】	○ものづくり×イノベーション ・グローバル・イノベーション・フォーラム(GIF) による国内外スタートアップと企業のグローバル・オープンイノベーション促進、ならびに国内スタートアップの海外展開支援 ○商流創造・グローバル展開 ・日本アセアンビジネス促進プラットフォーム等を活用した「販路開拓」「イノベーション創出」「人材育成・活用」等促進 ・グローバルバイヤーズ(海外販路開拓商談会、輸入ビジネスマッチング等) ・グローバルサウス等新興国ビジネス研究会を通じたビジネス支援 ・外国要人・ミッション、在日外国公館・団体等への魅力発信、万博を含む大阪ビジネスの対外プロモーション及び外資誘致 ・英文メールマガジン、英文HP等による情報発信 ・大阪の国際ビジネス環境整備に向けた意見・要望の建議
中国ビジネス 委員会 【国際部】	○商流創造・グローバル展開 ・中国ビジネスにかかわる企業交流の場となる「中国ビジネスプラットフォーム」の充実・活性化 ・中国とのビジネス機会創出(商談会や交流会の開催、越境EC等を利用した販路拡大の支援、ミッション派遣、海外展示会等への共同出展等) ・中国ビジネス相談、セミナー等を通じた情報提供 ・大阪のプロモーション及び外資誘致 ・中国要人・ミッション、在日外国公館・団体等への魅力発信 ・中国語HP等による情報発信

本会議所が事務局を担当する団体等一覧

総務企画部

- 関西商工会議所連合会
- 大阪府商工会議所連合会
- 関西商工会議所女性会連合会
- 大阪府商工会議所女性会連合会
- 大阪商工会議所新人会
- 大阪商工会議所議員懇親会
- 大阪チェンバーゴルフ

国際部

- 大阪対外ビジネスプロモーション協議会
- 関西日加協会
- 産業交流センター

産業部

- 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
人工知能技術コンソーシアム 関西支部
- 都心型オープンイノベーション拠点「Xport」

地域振興部

- 水と光のまちづくり推進会議
- 全国水都ネットワーク
- 本町橋100年会
- 食創造都市 大阪推進機構

人材開発部

- 大阪販売士協会
- 大阪簿記会計学協会
- 企業家研究フォーラム

組織図

会 員

議員総会 (150)

監 事 (3)

会 頭 (1)

副会頭 (8)

顧問・参与

専務理事 (1)

常務理事 (1)

理 事 (3)

常議員会 (50)

常任委員会 (3)

- 企画広報委員会
- 総務委員会
- 財務委員会

支部長・運営委員長会

部 会 (14)

- マテリアル部会
- 機械部会
- 化学・エネルギー部会
- 繊維部会
- 建設・建材部会
- 貿易部会
- 小売部会
- 生活用品部会
- 紙・印刷部会
- 食料部会
- 金融部会
- 運輸部会
- サービス産業部会
- 情報・通信部会

女性会

専門委員会 (15)

- 経済政策・法規委員会
- 税制委員会
- 中堅・中小企業委員会
- 産業技術振興・スタートアップ連携委員会
- デジタル変革推進委員会
- ライフサイエンス振興委員会
- スポーツ産業振興委員会
- 都市活性化委員会
- グレートミナミ推進委員会
- ツーリズム振興委員会
- 企業成長支援委員会
- 人材育成委員会
- 流通活性化委員会
- 国際ビジネス委員会
- 中国ビジネス委員会

支 部 (5)

- 北支部
- 東支部
- 中央支部
- 西支部
- 南支部

事務局長 (1)

事務局

- 総務企画部
- 財務部
- 産業部
- 中小企業振興部
- 流通・サービス産業部
- 支部事務局 (5)
- 会員部
- 国際部
- 地域振興部
- 人材開発部
- 経営情報センター